DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / ENDG NO. 775013

ことです。それで一時は村の一部の人たちからきらわれたこともあつたそうですが、いまではかなり理解されて、入會申込者がふえているといわれます。會長はべつに設けず、雨だれという會名も會員の投票によつて決まつたもので會合は週一回ガリ版の會誌を月一回発行するほか、講師を招いていろいろな話をきくこともありますこれについて後井君は「私たちはこのグループがどれ程社會的に價値のあるものだとは考えてもいませんし、ほかから認められ度いなどとは思いもしません。しかし、私たちがいまこそしつかり目を開いて世界のすべてを見詰めない限り、このグループの健全な活動も発表もできないことだけは信じています。またメイヤー女史のお話をうかがつた時、私たち若いものたちは、この乱れ勝ちな世のまつ只中にあつても、デモクラシーを骨組みとした「よりよき明日」に対する確信と、その積極的な普及の使命を持つていることを忘れてはいけないことを痛感しました」と語つています。

日本一の観音様

顔の長さ三十尺

高崎郊外にある日本一の観音像は戦時中は空襲の目標になるというので、一時は危く取こわしの話も出ましたが、昨年秋鉄道省のハイキングコース指定で浮び上り、毎日にぎわつています。この像は鉄きんコンクリート造りで全長百三十尺、重量百五十万六千貫、胴まわり六十尺、顔の長さ三十尺というものです。

悠久山に公認野球場

來年六月完成予定

長岡市悠久山公園に九千人も入れる公認野球場がつくられることになり、この程設計が完成しました。栃尾鉄道が中心になつて仕事を進め五百万円の費用で來年春雪が消えるとすぐに工事を行い、六月ごろ完成する予定です。

アメリカへ帰つたライト機

「飛行機の元祖」米國のライト兄弟は、一九〇三年の十二月十七日自分たちで作つた飛行機「キティ・ホーク」号ではじめて12秒間の飛行に成功しましたが米國學術研究機関スミソン研究所では十七日ライト兄弟の飛行四十五周年記念日に寄りいわれの深い「キティ・ホーク」号の正式な受入式を行いました。同機はこれまで英國のサウス・ケンジントン博物館に納められていたもので今後はスミソン研究所の米國航空博物館に陳列されることになりました。

夜遊びはやめましよう

不良化防止に縣からの注意

縣民生部では先月二十三日次のような指令を各地方事務所、市長あてに出し、P・T・A警察などとも連絡しお正月を迎えたお友だちの「不良化防止」に乗り出しました。

一、満十八才にならない少年少女は、つきそいなしで、夜十時以後の夜歩きはなるべくしないこと。

一、少年少女の万引を防ぐため、大賣り出し中の商店街はよく注意して、罪をおかす機會を與えないようにすること。

通りが二本しかない町

最近のテキサス州

アメリカのテキサス州では新らしい町がどんくできていますが、最近できた町村にはたつた二本の通りしかありません。しかもその名前がジス・ウエイ（こつちの通り）とザツト・ウエイ（あつちの通り）だということです。

研究室を出ると先生は「このたくさんの本は昨年生徒がイナゴ取りをして得たお金で、讀書することで美しい人間性を養おうというので買つたものです。ところがお父さん、お母さん方も熱心で、本やお金を寄附して下さつたのでたちまち千册ばかりそろつたのです」といわれました。

二階の二年生の教室はうつすらと雪げしようをした金北山の見える明るい部屋で、そこにはボール紙で作つた自動車や建物がたくさんあり、學校附近の地圖やバスの料金表等がはつてあります。先生のお話によると、これは新らしい教育の一つの例で、この建物で模型の町を作つてバスごつこをし、その間に料金の計算をしたり、交通道徳についていろいろ討論をするのだそうです。「この間も軍政部のメイヤー女史が、とてもおもしろそうに見て行かれました」と先生はニコニコしていました。

農村とはいえ幻燈器やポータブル蓄音器もそろつていて、都會のお友だちにもまけない程音樂もさかんで、未來のピアニストもここから出すのだと、はりきつています（写真は生活学習のバスごつこ）

講談社の兒童読物

あちらでも大評判！　こちらでも大人氣！

講談社

東京文京区講談社
振替東京三九三〇

岬の少年たち　—冒險小說—　清田人著　悪い奴、赤い奴を捕つてピン少年の無敵たゝかひ　價八〇円　〒一五円

電氣の話（上卷）　—好評再版—　清田剛著　日常生活何から何まで電氣に関することの説明。　價一〇〇円　〒一五円

アンデルセン物語　—傳記物語—　世界の童話の父と云われたアンデルセンの純朴でそして波瀾に富んだ一生を描く物語。　價一三〇円　〒一五円

心の銀河　—少年少女小說—　不幸に運命に弄ばれながら銀河の如く燦んだ心を持つて力強く生きてゆく少年少女物語。　價一三〇円　〒一五円

こぐまのコロスケ　—漫画—　吉本三平著　かわいいコロスケと云うこぐまの人氣者を漫画で子供の世界そのままにおもしろく描く本。　價九〇円　〒一〇円

小公子　—世界名作物語—　千葉省三著　農家から一躍伯爵の子となるセデイ少年の優しい明るい心の物語。新かなづかい使用　價一二〇円　〒一五円

オリバーツイストの冒險　—世界名作物語—　片山昌造著　貧民窟から飛び出した少年オリバーが不良の仲間から脱出するまでの冒險物語　前篇後篇　價各一五〇円　〒一五円

トム君、サム君　—少年小說—　佐々木邦著　日本生れの米少年と日本の二少年のゆかいなほえましい友愛物語。ユーモア小說　價一〇〇円　〒一五円

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

ことは思いもしません。しかし、私たちがいまこそしっかり目を開いて世界のすべてを見詰めない限り、このグループの健全な活動も発表もできないことだけは信じています。またメイヤー女史のお話をうかがつた時、私たち若いものたちは、この乱れ勝ちな世のまつ只中にあつても、デモクラシーを骨組みとした「よりよき明日」に対する確信と、その積極的な普及の使命を持つていることを忘れてはいけないことを痛感しました」と語つています。

悠久山に公認野球場

來年六月完成予定

長岡市悠久山公園に九千人も入れる公認野球場がつくられることになり、この程設計が完成しました。栃尾鉄道が中心になつて仕事を進め五百万円の費用で來年春雪が消えるとすぐに工事を行い、六月ごろ完成する予定です。まわり六十尺、顔の長さ三十尺というものです。

アメリカへ帰つたライト機

「飛行機の元祖」米國のライト兄弟は、一九〇三年の十二月十七日自分たちで作つた飛行機「キティ・ホーク」号ではじめて12秒間の飛行に成功しましたが米國學術研究機関スミソン研究所では十七日ライト兄弟の飛行四十五周年記念日に寄りいわれの深い「キティ・ホーク」号の正式な受入式を行いました。同機はこれまで英國のサウス・ケンジントン博物館に納められていたもので今後はスミソン研究所の米國航空博物館に陳列されることになりました。

夜遊びはやめましよう

不良化防止に縣からの注意

縣民生部では先月二十三日次のような指令を各地方事務所、市長あてに出し、P・T・A警察などとも連絡しお正月を迎えたお友だちの「不良化防止」に乗り出しました。

一、満十八才にならない少年少女は、つきそいなしで、夜十時以後の夜歩きはなるべくしないこと。

一、少年少女の万引を防ぐため、大賣り出し中の商店街はよく注意して、罪をおかす機會を與えないようにすること。

通りが二本しかない町

最近のテキサス州

アメリカのテキサス州では新らしい町がどんくできていますが、最近できた町村にはたつた二本の通りしかありません。しかもその名前がジス・ウエイ（こつちの通り）とザツト・ウエイ（あつちの通り）だということです。

はボール紙で作つた自動車や建物がたくさんあり、學校附近の地圖やバスの料金表等がはつてあります。先生のお話によると、これは新らしい教育の一つの例で、この建物で模型の町を作つてバスごつこをし、その間に料金の計算をしたり、交通道徳についていろいろ討論をするのだそうです。「この間も軍政部のメイヤー女史が、とてもおもしろそうに見て行かれました」と先生はニコニコしていました。

農村とはいえ幻燈器やポータブル蓄音器もそろつていて、都會のお友だちにもまけない程の町を作つてバスでつこをし、その間に料金の計算をしたり、交通道徳についていろいろ討論をするのだそうです。「この間も軍政部のメイヤー女史が、とてもおもしろそうに見て行かれました」と先生はニコニコしていました。

農村とはいえ幻燈器やポータブル蓄音器もそろつていて、都會のお友だちにもまけない程の町を作つてバスでつこをし、その間に料金の計算をしたり、交通道徳についていろいろ討論をするのだそうです。「この間も軍政部

音樂もさかんで、未來のピアニストもここから出すのだと、はりきつています（写真は生活学習のバスごつこ）

講談社の児童読物

あちらでも大評判！　こちらでも大人氣！

片山晶漫畫 —世界名作物語—
オリバーツイストの冒險
貧民窟から飛び出した少年オリバーが不良の仲間から脱出に成功するまでの冒險物語 前篇後篇 價各一五〇円 〒一五円

佐々木邦著 —少年小說—
トム君、サム君
日本生れの米少年と日本の一少年のゆかいなほほえましい友愛物語。ユーモア小說 價一〇〇円 〒一五円

千葉省三著 —世界名作物語—
小公子
貴族から一轉伯爵の子となつたセドリック少年の優しい明るい心の物語。新かなづかい使用 價一二〇円 〒一五円

吉本三平著 —漫圖—
こぐまのコロスケ
かわいいコロスケと云うこぐまの人氣者を漫圖で子供の世界そのままにおもしろく描く本。 價九〇円 〒一〇円

小野宋孝著 —少年少女小說—
心の銀河
不幸な運命に導びかれながらも何時の如く強んだ心を持つて力強く生きてゆく少年感激物語。 價一三〇円 〒一五円

窪田雅一著 —傳記物語—
アンデルセン物語
世界の童話の父と云われたアンデルセンの郷土でそして波瀾に富んだ一生を描く傳記物語。 價一三〇円 〒一五円

—好評再版—
電氣の話（上卷）清水剛田著
日常生活何から何まで電氣に関係すること一切の發明。 價一〇〇円 〒一五円

—冒險小說—
岬の少年たち 清人著
青い珠、赤い珠を持つてゐる少年の冒險たいじ 價八〇円 〒一五円

東京文京区湯島町
振替東京三九三〇
講談社

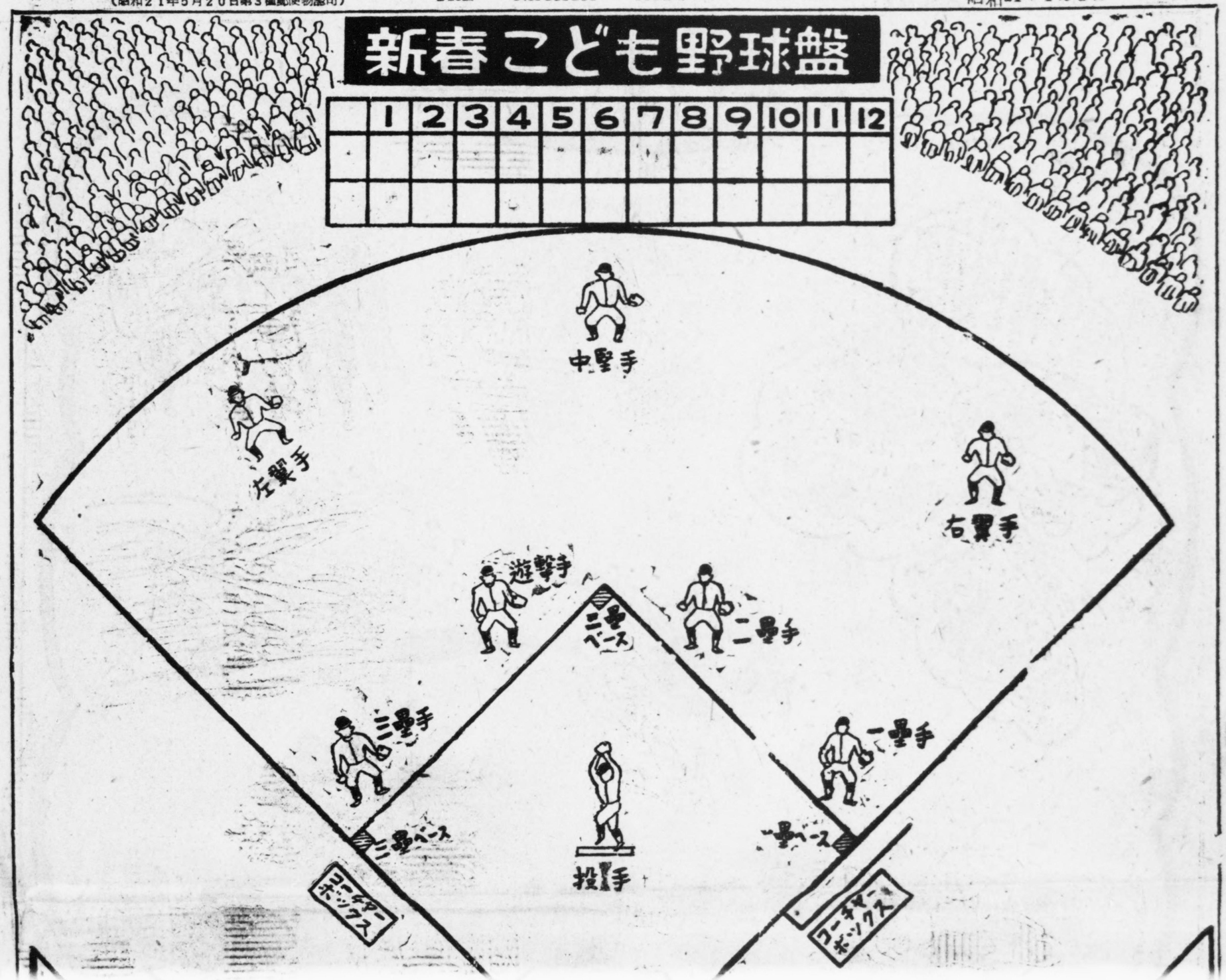
ター坊の初夢

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / ENDOC NO. 775013

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / ENDOS. NO. 775013

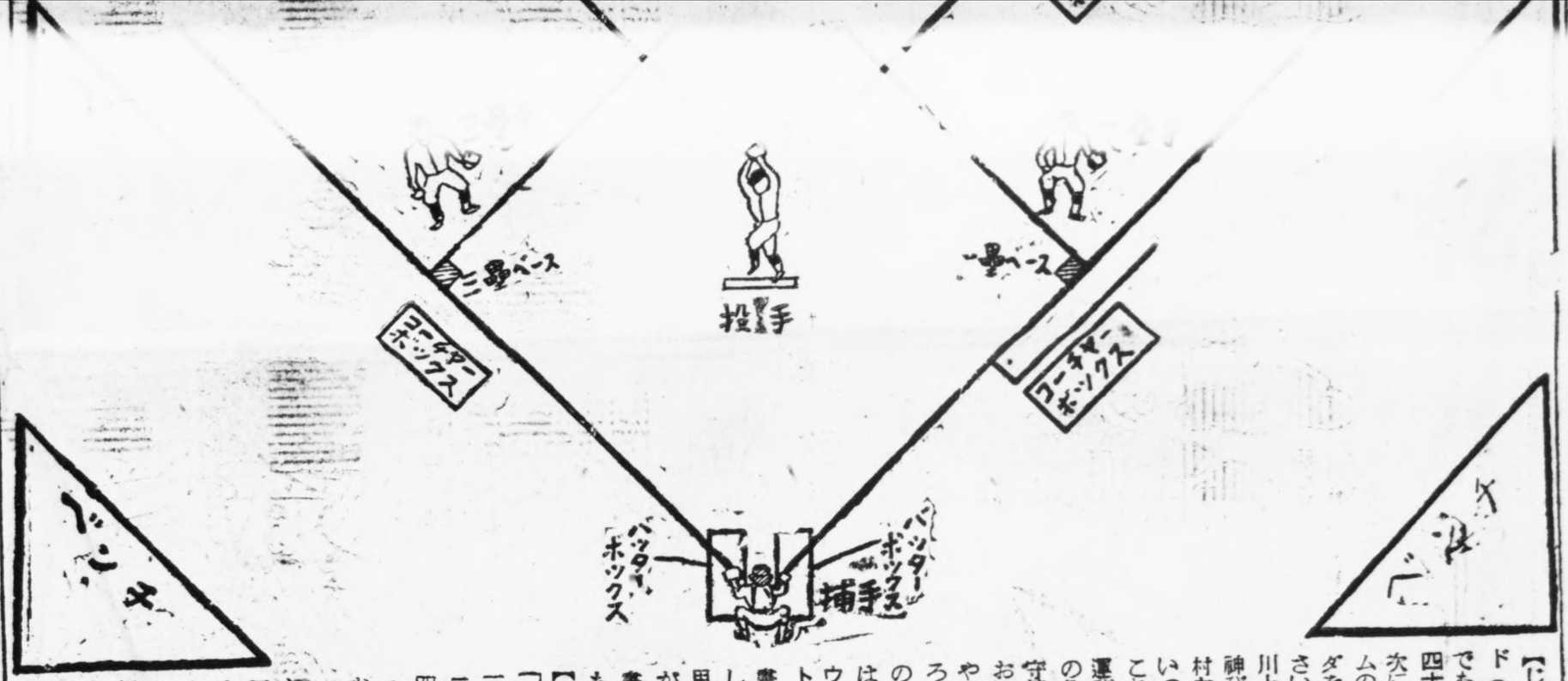
新春こども野球盤

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12



DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / ENDG NO. 775013



【じゅんび】先ずカード（古名刺、古ハガキでもけつこうです）を四十五枚用意します。次におたがいのテイームの選手名を書いたフダを九つずつ作つてください。巨人びいきなら川上、青田、中尾。阪神びいきなら別當、藤村などと書きこんだらいつそう愉快でしようこれらのフダは試合の選びによつてゲーム毎の各塁上に置きます。守備側は各守備位置において下さい。わかりやすく色をぬつてもよろしい。さて四十五枚のカードのうち十五枚はセーフ二十五枚はアウト、五枚は犠牲バント等を書きこみます（書きこみ方は後で説明します）さあ、これで用意は出來たわけですが、スコア・ブックに書き入れるともつとおもしろく遊べます。

【カードの書きこみ方】「セーフ」の方は本塁打三塁打各一枚、二塁打二枚、シングルヒット四枚（この場合レフト・オーヴアー三塁打とか、一二塁間ヒットと球の方向を示せばなお面白いです）四球三枚。盗塁成功、エラー、セーフテイ・バント、内野安打各一枚と「アウト」の方は三振二枚。フライ・アウト、ゴロ・アウト各九枚。ライナー・アウト二枚（いずれもヒットと同じく球の方向を適當に書いて下さい）盗塁失敗一枚、ダブル・プレー二枚を作ります。残りの五枚は犠打二枚大フライ三枚とします。

【遊び方】ジャンケンで先攻をきめ、守備側の人は四十五枚のカードをよく切つて持ちます。攻撃側は一番バッターをボックスに送ります。「プレー・ボール」

攻撃側は自分の好きな数、たとえば5なら5といいます。守備側は重ねたカードの上から5枚目をとつて表を出します。それがセンター前ヒットならランナーを一塁に進め、セカンド・ゴロならワン・ダウンとするのは本物の野球そのままです。スリー・アウト・チエンジになれば攻守を交替するのはいうまでもありません。このようにして九回までやつて勝負をきめます。

【注意】ランナーのいない時「盗塁」（成功、失敗とも）のカードが出たらやりなおし「犠打」が出たらセーフテイ・バント失敗でアウトです。「大フライ」は三塁にランナーがいて、ノー・ダウンか、ワン・ダウンの場合はホーム・インで一點です。又ランナーがいない時「ダブル・プレー」が出たら普通のゴロと同じに一塁アウトです。

お正月映画はこれだ！
恐怖の興奮！火花散る熱戦！
ジエームス・キヤグニイ
アン・シエリダン主演
絶対見逃がせぬ迫力篇
ワーナーブラザース配給大作
「オクラホマキツド」のジエームスキヤグニイの凄いパンチ
栄光の都
大竹座
元旦より大公開 毎日九時開場

第17回ロードショウ☆
パーキントン夫人
Mrs. Parkington
名作「キユーリー夫人」の名コンビ
グリア・ガースン
ウオルター・ビジヨン
共演
近日大公開
喜びと悲しみ、そは偉大なる愛の生涯を彩る……みめ美しくオタケ女性の人生遍路！想出し
ROADSHOW THEATRE
花月劇場
メトロ・ゴールドウイン・メーヤー配給大作

初春希望訪問

小林先生を囲む座談会

新しい年一九四九年を迎えて新潟子供新聞では新潟市大形中學二年久島利邦、木戸中學二年小林惠美、沼垂校六年小林進、榮校六年河村和子の四人のみなさんから、縣下の小中學生代表になつてもらい「初春希望訪問」として教育委員長小林力三先生をかこむ座談會を開きました。小林先生も「私の知つている限りなんでもお答えしますから、ごえんりよなくお話しください」とニコニコ答えてトさいました。

【河村】新年を迎えて私たち小中學生は、どういつた氣持で勉強したらよいでしょうか？

【小林】六・三制になつて義務教育も三年延長され、ことし新制大學ができれば新學制は完成したことになります。しかし実際には校舎が無いとか、先生が不足だとかで、皆さんが勉強される上に不便な點がいろいろ多いのは皆さんのためにお氣の毒だと思います。しかし、せつかくできたりつぱな制度を、形だけのものに終らせないよう、皆さんも不自由をがまんして一生けんめい勉強し、自分をみがいて下さい。

【久島】中学校の校舎はいつできるのでしょう？

【小林】はつきりしたことはいえませんが、これは一般からの寄附金で建てられることになつており、新潟市の場合は寄附金が目標額を突破したはずですから、今年度中には全部出來上ると思います。他の郡市も同樣でしよう。皆さんが校舎の心配をなさるのは無理のないことですが、これは心配する樣むずかしい問題ではないと考えます。

【小林進】ぼくは子供のための遊び場があつたらと思うのですが。

【小林】遊び場がないのは氣の毒です。この問題は青少年生活補導協議會で一生けんめい考えています。しかし場所やお金の問題でまだハツキリした計画はできていないようです。

【河村】全然やつていないわけではないのですね？

【小林】そう。學校以外のことは協議會でやつています。

【小林進】他の学校を見学したり討論会をしたらいろいろためになる思いますが……。

【小林】賛成です。その他港や鉄道など実地に社會見學ができるように委員會ではかる考えです。

【久島】勉強がすきでも家が貧しいために中学から高等学校へ進めない人がありますが、授業料を少くしたりしてこういつた人たちを何とか助けてあげられないものでしょうか。

【小林】働らきながら勉強できる定時制高校があります。ここを卒業したら、ふつうの高校と同じ資格で大學へも進むことができます又總合大學が出來たら働らく人のために夜間部も設けられるのではないでしょうか。授業料の方はそう問題ないと思います。

【久島】ぼくは定時制高校についてはあまり知りませんでした。

【小林】出來たばかりですから無理もありません。

【久島】定時制高校とふつうの高校のちがいをお聞かせ下さい

【小林】定時制高校はだいたい夜だけ授業します。授業時間が短かいのでふつうなら三年で卒業できるのが四年かかります。しかし、得られる學力や資格にかわりはありません。又大學へ進めば通信教育があります。これは家にいながら、東京でもどこでも自由に大學をえらび、その大學のテキスト(教科書)で勉強し、試驗に合格すれば大學卒業の資格が得られるのです。最近はこういつたぐあいに働らく人たちのために教育の道がりつぱに開けました。

【久島】縣下の中学校で同じ問題の試驗をしたらどうでしょう。

【小林】昔は本縣でもやりました。少々へい害もありますが、先生も生徒も競爭心を起して勉強するでしょうから、たいへんよいことだと思います。

【小林進】学校に図書館があつても本がないのですが……。

【小林】お互いが本を持ちよつて「私たちの圖書館」をつくつたらおもしろいでしよう。

【河村】私たちはそういつた図書館をつくつています。

【小林】縣立圖書館など專門の方から指導していただいたらいつそうよいものができるでしよう。教育委員會でも圖書館の整備など喜んでお世話します。

【一同】どうもいろいろありがとうございました。

【写真】向つて右から河村和子、久島利邦、小林先生、小林惠美、小林進の皆さん

たずねる人

大形中二年生久島利邦
木戸中二年生小林惠美
沼垂校六年生小林　進
榮　校六年生河村和子

こたえる人

縣教育委員長小林力三

こども懸賞 (お)(答)(え)

❶新潟縣で一番大きな、日刊新聞の名前は？…正解（新潟日報）

❷「新潟子供新聞」発行所の名前は？……正解（新潟日報社）

❸皆さんの弟さん、妹さんの雑誌「なかよし」の発行所の名前は？…正解（新潟日報社文化部）

懸賞募数は六千名近くもありましたが、懸賞の結果正解者は三千百六十四名でした。各郡市のうちわけは次の通りです。

新潟市三三七名、長岡市二三三名、三條市二四一名、柏崎市四一名、新発田市三一名、高田市一七名、南蒲原郡二三七名、西蒲原郡二四三名、北蒲原郡二〇二名、中蒲原郡一三四名、東蒲原郡四八名、北魚沼郡二二三名、中魚沼郡一三九名、南魚沼郡八九名、西頸城郡八八名、中頸城郡一七五名、東頸城郡二九名、岩船郡一五二名、刈羽郡一一〇名、市島郡一五九名、三島郡二一〇名、佐渡郡一三六名、

なお、正解者の氏名は多数のため紙上にのせきれませんので、賞品（マンガボ）到着をもつて発表にかえますから、そのようにご承知下さい。

ラジオ坊だより

◇あけましておめでとうございます。ことしもどうぞよろしく。

◇お正月の六ページにつづいて、子供新聞はどこよりも早く、中越版を発行することになりました。高田、長岡方面の皆さんたちは「ぼくたちの村」「私たちの町」のニユースが、ドツサリ出ることになりますから、きつとよろこんでいただけるでしよう。おそくも今月中にはじめる予定です。

光男の

（五）

光男にすばローヴをみせ一体その老人いい出すつもしようか。先り、光男がそヴについて氣ということをましよう。

光男は、春球のリーグ戰んと一諸に行その時、兄さで、黒木さんツチヤーと知なりました。學校の名ピツす。

光男はあこツチヤーと知れてうれしくんのそばによげしげとみつさすがに黒木ローヴは素晴した。光男はしてもらつて

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

【久島】ぼくは定時制高校についてはあまり知りませんでした。

【小林】出來たばかりですから無理もありません。

【久島】定時制高校とふつうの高校のちがいをお聞かせ下さい

【小林】定時制高校はだいたい夜だけ授業します。授業時間が短かいのでふつうなら三年で卒業できるのが四年かかります。しかし、得られる學力や資格にかわりはありません。又大學へ進めば通信教育があります。これは家にいながら、東京でもどこでも自由に大學をえらび、その大學のテキスト（教科書）で勉強し、試驗に合格すれば大學卒業の資格が得られるのです。最近はこういつたぐあいに働らく人たちのために教育の道がりつぱに開けました。

【久島】縣下の中学校で同じ問題の試驗をしたらどうでしょう。

【小林】昔は本縣でもやりました。少々へい害もありますが、先生も生徒も競爭心を起して勉强するでしょうから、たいへんよいことだと思います。

【小林達】学校に図書館があっても本がないのですが……。

【小林】お互いが本を持ちよつて「私たちの圖書館」をつくつたらおもしろいでしょう。

【河村】私たちはそういった図書館をつくっています。

【小林】縣立圖書館など専門の方から指導していただいたらいつそうよいものができるでしょう。教育委員會でも圖書館の整備など喜んでお世話します。

【一同】どうもいろいろありがとうございました

こども懸賞 お答え

❶新潟縣で一番大きな、日刊新聞の名前は？…正解（新潟日報）

❷「新潟子供新聞」発行所の名前は？……正解（新潟日報社）

❸姉さんの愛讀、妹さんの雑誌「なかよし」の発行所の名前は？…正解（新潟日報社文化局）

総應募數は六千名近くもありましたが、厳選の結果正解者は三千百六十四名でした。各郡市のうちわけは次の通りです。

新潟市三三七名、長岡市二三三名、三條市一四一名、柏崎市四一名、新發田市三一名、高田市一七名、南蒲原郡二三七名、西蒲原郡二四〇名、北蒲原郡二〇二名、中蒲原郡二三四名、東蒲原郡四六名、北魚沼郡二三三名、中魚沼郡一三九名、南魚沼郡八九名、西頸城郡八八名、中頸城郡一七五名、東頸城郡二九名、岩船郡一五二名、刈羽郡一一〇名、古志郡一五九名、三島郡二一〇名、佐渡郡一三六名、

なお、正解者の氏名は多数のため紙上にのせきれませんので、賞品（マンガ本）到着をもつて発表にかえますから、そのようにご承知下さい。

◇あけましておめでとうございます。ことしもどうぞよろしく。

◇お正月の六ページにつづいて、子供新聞はこんど上、中越版を発行することになりました。高田、長岡方面のみなさんは「ぼくたちの村」「私たちの町」のニュースが、ドシドシ出ることになりますから、きつとよろこんでいただけるでしょう。おそくも今月中にははじめる予定です。

光男のグローヴ

（五）

青木千鶴
塚越久雄え

光男にすばらしいグローヴをみせておいて一体その老人は、何をいい出すつもりなのでしょうか。先ずそれより、光男がそのグローヴについて氣がついたということをのべてみましょう。

光男は、春の中等野球のリーグ戰に、兄さんと一諸に行きましたその時、兄さんの紹介で、黒木さんというピツチャーと知り合いになりました。兄さんの學校の名ピツチャーです。

光男はあこがれのピツチャーと知合いになれてうれしく、黒木さんのそばによつて、しげしげとみつめました。さすがに黒木さんのグローヴは素晴しいのでした。光男はそれを貸してもらつて、手にはめて、ぽん〳〵たゝいてみました。

いま、光男の目の前に、じいさんが出してきてみせたグローヴが、その時の黒木さんのに似ているのに氣がついたのです。光男は、はつとして、グローヴの内側をみました。

確に、光男には見おぼえがありました。グローヴは黒木さんの品でした。

黒木さんのグローヴには内側に一寸した傷があり、その上にローマ字でクロキとかいてあつたのでしたが、今見るのも、その通りでした。字は大分薄れていましたけれど。

黒木さんはそのグローヴを大変大切にしていて、これがあるから、じゆう分な活躍もできるんだ、これは僕の守り神だ、と云つていました。

その大切なグローヴがどうしてこんな所にあるのでしょうか。黒木さんが手ばなすわけがありません。光男はおかしいぞ、と思いました。

光男が、その日家にかえつたのはもう日が暮れて薄暗くなつてからでした。雨にぬれてかえつたせいか、さむ氣がして早くねてしまいましたので、家のひと達は誰も、光男が學校から歸りがけに出合つた不思議なことを知りませんでした。

實は光男は、あれから、おかしい、おかしいとは思いながらも、一旦手に入りかけたグローヴが思い切れずじいさんの言葉通り、お金はあと拂いということにして、こつそり持ちかえつたのです。何だか、家の人には知られたくなくて、玄關に入る前に物置の棚の中に入れておきました。

さてそのまゝ一晩たつた今日の日曜日。光男のお母さんが裏の燒あとの空地から光男を連れかえつて床にねせ氣がついてみるとひどい熱だつたのでした。

濁つた水を澄ますには

濁つた水は、じつとしておいてもある程度まで澄んできますが、ミヨウバンを少し入れると見事に澄みます。

☆日本一の少年雑誌☆

少年 二月号

大フロク 二

▲第一フロク（痛快絵物語）『豹少年』山川惣治
▲第二フロク（高級多色刷）日本野球優秀選手ブロマイド

愈々近日発賣！

探偵小説 青銅の魔人 江戸川乱歩
▲明朗小説・ホームランクラブ
▲漫画物語・パチンコ島の冒険
▲冒險小説・北氷國の秘密
▲少年小説・クラスの熱情
▲感激物語・科学者の魂
（野球特集）
青田川上両選手の友情物語
栄冠に輝く南海チームの写眞
打撃王青田選手の写眞野球コーチ
試合心得・これも知らぬと大失敗
▲色刷り大図集・自然のふしぎ
▲科学物語・動物の冬ごもり
この他工作読物など満載

特價40円 〒4円

光文社の優良雑誌

東京文京音羽町3 光文社

☆日本一の少女雑誌☆

少女 創刊号

大フロク 二

▲第一フロク（とても美しい！）青い鳥幸福カレンダー
▲第二フロク（別冊美本漫画）『ピンちゃん兄妹』沢井一三郎

愈々近日発賣

四大連載
▲少女小説・火の女神
▲傳奇小説・くれないの珊像
▲明朗小説・トコちゃん物語
▲少女小説・ふた葉のクローバー

絵物語・ひみつの机・宮崎博史
短篇小説・永遠の友情・加藤武雄
名曲物語・ハレルヤ・コーラス。

大懸賞・読物たくさん
この他 美しい人形のあたる

◎造花をつくりましょう…古山きん
◎わたくしのスタイル……川島はなよ
（折込）
◎花と詩と絵の美しいアルバム
◎思い出の名画オーケストラの少女（グラビヤ）

特價40円 〒4円

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

ことしのコヨミ 昭和廿四年

your CALENDAR 1949

1 JAN

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

2 FEB

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3 MAR

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

4 APR

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

1月1日　元　日
〃15日　成人の日
3月21日　春分の日
4月29日　天皇誕生日
5月3日　憲法記念日

5 MAY

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6 JUN

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7 JUL

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

8 AUG

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

5月5日　こどもの日
9月23日　秋分の日
11月3日　文化の日
〃23日　勤労感謝の日

9 SEPT

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

10 OCT

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

11 NOV

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12 DEC

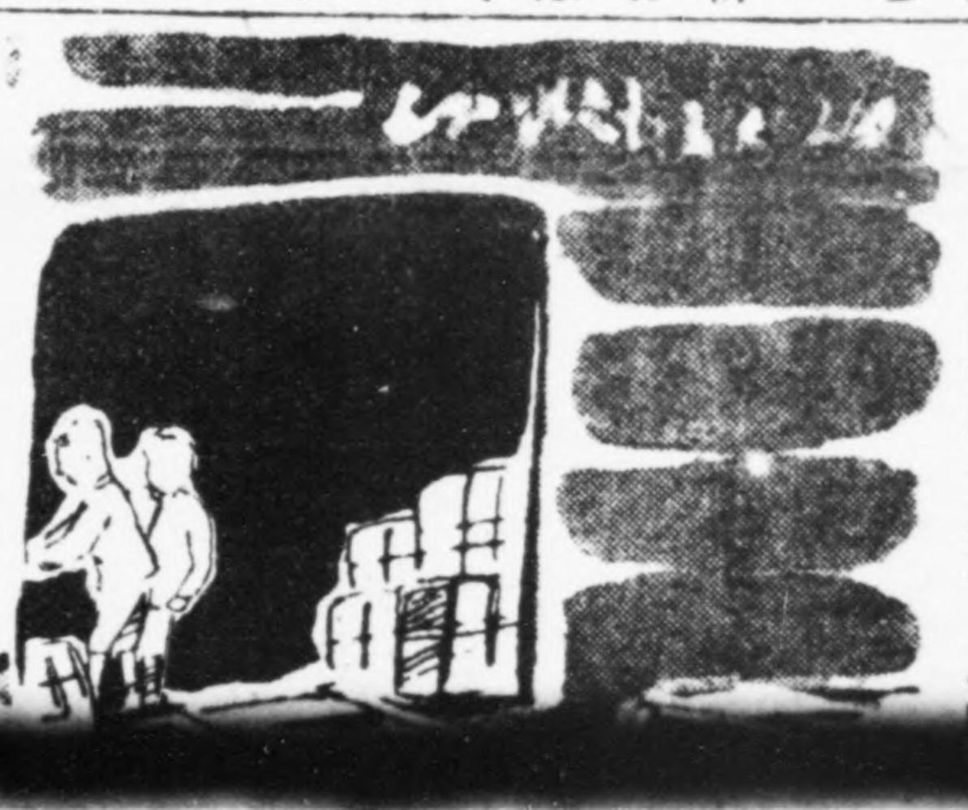
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

地下道の子

青地進　え 星

しかしおかみさんはわりにしんせつな人で二人が行く所もないことを知つているし、いろいろ同情してくれ、新潟へ行けばわたしの親類のものがいるからそこへ行つて働きなさいと、汽車ちんをこつそり渡してくれた。

二人は驛へ行つて新潟までのきつぷを買おうと思つたが、買えば途中のこづかいもなくなるし、せつかくおかみさんが手紙までつけてくれたのだけれど、しかたなく函館までのきつぷを買うことにした。二人は女中たちがくれたかぼちやのあんが入つたジヤガイモのパンを沢山ふところに入れて、その晩汽車にのつた。岩見沢についたら函館へ行く汽車がないのでその夜は驛のベンチでねた。ところが夜明けにおまわりさんに起され、驛前の交番につれて行かれた。いろいろしらべられたが、が二人が正直に今までのことをいつたので、かえつて同情され函館へ行つたら警察のかかりの人に話せばよいと、わざわざその人の名まえまで教えてくれた。あくる日二人は汽車で函館についたがひろすぎ警察をたずねてその人にあつたところ、岩見沢の交番のおまわりさんの言葉とはまるでちがつて、二人はひどくしかられ、ほうほうの……した。は……みたもの……くあても……やりして……な船が入……けば青森……船で、今……



森へ引きか……いうことで……「この船に……とシゲ公は……「きつぷが……れないよ」……つまらな……ば、「コツ……だよ」とシ……君の耳にさ……

連載 ラット先生　田村仁志次

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NND 775013

地下道の子

青地進 え 星野勇

しかしおかみさんはわりにしんせつな人で二人が行く所もないことを知つているし、いろいろ同情してくれ、新潟へ行けばわたしの親類のものがいるからそこへ行つて働きなさいと、汽車ちんをこつそり渡してくれた。

二人は驛へ行つて新潟までのきつぷを買おうと思つたが、買えば途中のこつかいもなくなるし、せつかくおかみさんが手紙までつけてくれたのだけれど、しかたなく函館までのきつぷを買うことにした。二人は女中たちがくれたかばちやのあんが入つたジヤガイモのパンを沢山ふところに入れて、その晩汽車にのつた。岩見沢についたら函館へ行く汽車がないのでその夜は驛のベンチでねた。ところが夜明けにおまわりさんに起され、驛前の交番につれて行かれた。いろいろしらべられたが、二人が正直に今までのことをいつたので、かえつて同情され函館へ行つたら警察のかかりの人に話せばよいと、わざわざその人の名まえまで教えてくれた。あくる日二人は汽車で函館についたがひろすぎ警察をたずねてその人にあつたところ、岩見沢の交番のおまわりさんの言葉とはまるでちがつて、二人はひどくしかられ、ほうほうのていで逃げ出した。はとばに行つてみたものの、どこへ行くあてもないのでぼんやりしていると、大きな船が入つて來た。きけば青森から來た連絡船で、今晩十二時に青森へ引きかえすのだということであつた。

「この船に乘ろうや」とシゲ公はいうのだが「きつぷがなくては乘れないよ」と利一君がつまらなそうにいえば、「コツソリ乘るんだよ」とシゲ公は利一君の耳にささやいた。

ふつうのお客さんの乘らないうちがいいと利一君がいうので、暗くなるのを待つて二人はゆうびん物をつんだ車の下にかくれてようすをうかがつていると船員の人がさかんに出たり入つたりして荷物を積んでいる。二人のかくれているところは暗くてかくれるのにつごうが良かつたが船の入口になつているタラツプの上には、明るい電氣がついていてぐあいがわるい。しかし荷物を積み込むところは低くなつていて足をかけさえすれば乘れそうなので、そこから乘ろうと二人はささやきあつた。するとその時、船は場所をかえるのかボーツ、ボーツと二、度汽笛を鳴らしたかと思うと、どうしたのか今までついていた電氣が一度にパツと消えた。利一君はシゲ公の肩を押すとすぐにうさぎのように飛び出して、船にとびこんだ。どこにかくれようかと考えているひまもなかつた。利一君は急いでボートの下にかくれたがシゲ公とは別れ別れになつてしまつた。それから間もなくどんどんお客さんが乘り込んで來る足音がきこえた。利一君は船が港を出てからもボートの下から出なかつた。船はかなりゆれながらどんどん進んだ。間もなく夜が明けて來た。そうつと首をあげてみると、もう青森の町が見えた。その時である。コツコツとくつの音がして、利一君はだれかに首すじをおさえられた。

（つづく）

短歌

山田又一選

入選

中角上田製田中分蘭五年 鹿水としえ

校庭の初等きえて月の子 秋雨ふるに野球している

北蒲小出製六年 高木 敏六

にわとりの声におこされ戸をくれば 朝ぎりさつと流れ入りけり

佐渡赤泊中一年 山本 喜代

流れ落ちる汗もふかずにきようこそは 母に負けじとたきぎ負いたり

連載 ラット先生

田村仁志沢

DAIWA DAIWA DAIWA DAIWA
優良児童図書の公
正直下賜双
お兒めおい
月推さ上六
の薦いの帳
年書100に呈
お図方進
玉を円はし
に御以美ま
は求上しす
幼年向絵本・低学年向説話・中級向説話・少年少女読物・上級向文学・歴史・社会・科学
大和 書籍部

僕等の爲に
僕等の作つた こども銀行!
預金通帳
こども銀行
新潟縣選賢安定推進委員会
日本銀行新潟支店

二日—五日
新年初売
三重景品付空袋なし
御正月のお手玉が沢山まいりました……
御父さん御母さんと一緒に御出を御待ちしております
の御買物は當店で
小林百貨店
新潟市 電話三八七〇番

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / RNDG NO. 775013

はじめに

わが青少年赤十字は、大正十一年に創立され、以來二十數年、学校教育の実践訓練機関として、その教育に一段の生氣を與えるとともに、青少年に対し博愛奉仕・國際親善の精神の育成と健康増進とにつくしてきたが、今回、民主日本建設にともなう教育制度革新の線にそうため、團の組織に種々改正を加えることとなつた。

右にもとずき、関係者諸氏と年長團員諸君に対し、新しく発足した青少年赤十字のだいたいを説明するため、この手びきを刊行した次第である。

この手びきは、理論的な説明をさけ、具体的な事例をあげることによって、その大体を了解していただくようにつとめた。本書によって、実

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

青少年赤十字團は、本書の序文にあるような趣旨によつて、このたび新しく発足することになつた。新組織が従前と異なる点は、左の通りである。

1、学級を單位に設團する。

2、團員の勤勞によつて得た金、五円ずつを、登錄費として納める。

3、團は、毎学年初めに登錄を更新する。

従來の校外生活指導の立場を捨て、直接学習の中に織りこんで指導されていくことになつたので、担任の先生がたの御助力を御願いする次第である。

なお本書の発行については、文部省、商工省並びに東京書籍株式会社の絶大な援助と、配慮にまつところが多かつたことを付記して、感謝の意を表したい。

昭和二十三年六月

日本赤十字社

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

際に團の指導にあたられる時は、おのずからそこに的確な教育的原理を発見されることと思う。

もちろん、本書には、團の指導経営の詳細については述べてない。したがって、実際の指導にあたっては種々の疑問が出てくるであろうから、その時はえんりょなく当方に質問をよせられるなり、指導者同志で討議し相互の研究によって、本運動の成果をあげることを希望する。

なお、この手びきの刊行にあたっては、アメリカ赤十字社派遣顧問からこんせつな指導を與えられ、また、用紙は全部アメリカ青少年赤十字團員から寄贈されたことを記して、深く感謝の意を表わす次第である。

昭和二十三年六月

日本赤十字社

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

青少年赤十字の手びき

一　青少年赤十字とは

青少年赤十字とは、少年・少女のために設けられた赤十字の一部門であって、わが青少年赤十字は、日本赤十字社に所属し、小学校・中学校・高等学校内に組織されることになっている。したがって、この青少年赤十字団は、赤十字社連盟の一部にもなっているのである。

青少年赤十字の活動は、学校を中心として、その機能を発揮することができる。

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

というのは、青少年赤十字團とその事業は、学校の正規の授業と結び合ってはじめて完全なものとなるからである。

青少年赤十字の事業は、他の成人が行なう各種の赤十字事業と、はっきり区別をして実施されなければならない。しかし、場合によっては協力して活動することもさしつかえない。そうして、その運営にあたっては、学校当局と先生がた各位および赤十字支部等の理解ある共鳴と、強い協力がなくてはとうてい効果を挙げることができないのである。

青少年赤十字の事業計画は、学校では、生徒たちの学習にいちだんと活氣を與え、家庭やその郷土社会では、團員の日常生活に織込んで実行されるようにしくまれていなければならない。いいかえると、学習に應用できるような生きた事業でなければならないのである。

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

二　青少年赤十字團員の範囲

小学校・中学校・高等学校（六・三・三）の生徒は、だれでも團員になることができる。團員となる基本條件は、團体（学級）として加盟するのであって、個人として團員となることはできない。つまり学級を單位として加盟するようになっている。高等学校を卒業すれば青少年赤十字の團員としての資格はなくなるが、それからは、日本赤十字社の成人社員として赤十字事業の各部門で活動することができる。

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

三　青少年赤十字の目的

青少年赤十字の目的を要約すると、次の通りである。

1　團員によい公民の意義を十分に理解体得させる。

2　團員の健康と安全とを保持増進する。

3　團員に郷土社会・國家および世界に対する奉仕、親善の精神を育成する。

右の通りで、けっきょくよい公民の養成にあるのだから、学校・家庭・その他の青少年團体の教育目的と一致するわけである。少年・少女の時代から、このような國際團体の一員であるという自覚を持ち、また、自治の精神によって運営する組織の中で活動し、活きた教材によって健康と安全とを増進し、博愛奉仕と國際親善の精神を養った青少年こそ、將來わが民主國家の建設のためのよい公民となることができるのである。

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

四　青少年赤十字團員の「ちかい」

青少年赤十字團員は、加盟の時、次のような「ちかい」をする。

私は、青少年赤十字の一員として、心身を強健にし、人のためと、郷土社会のため、國家と、世界のためにつくすことをちかいます。

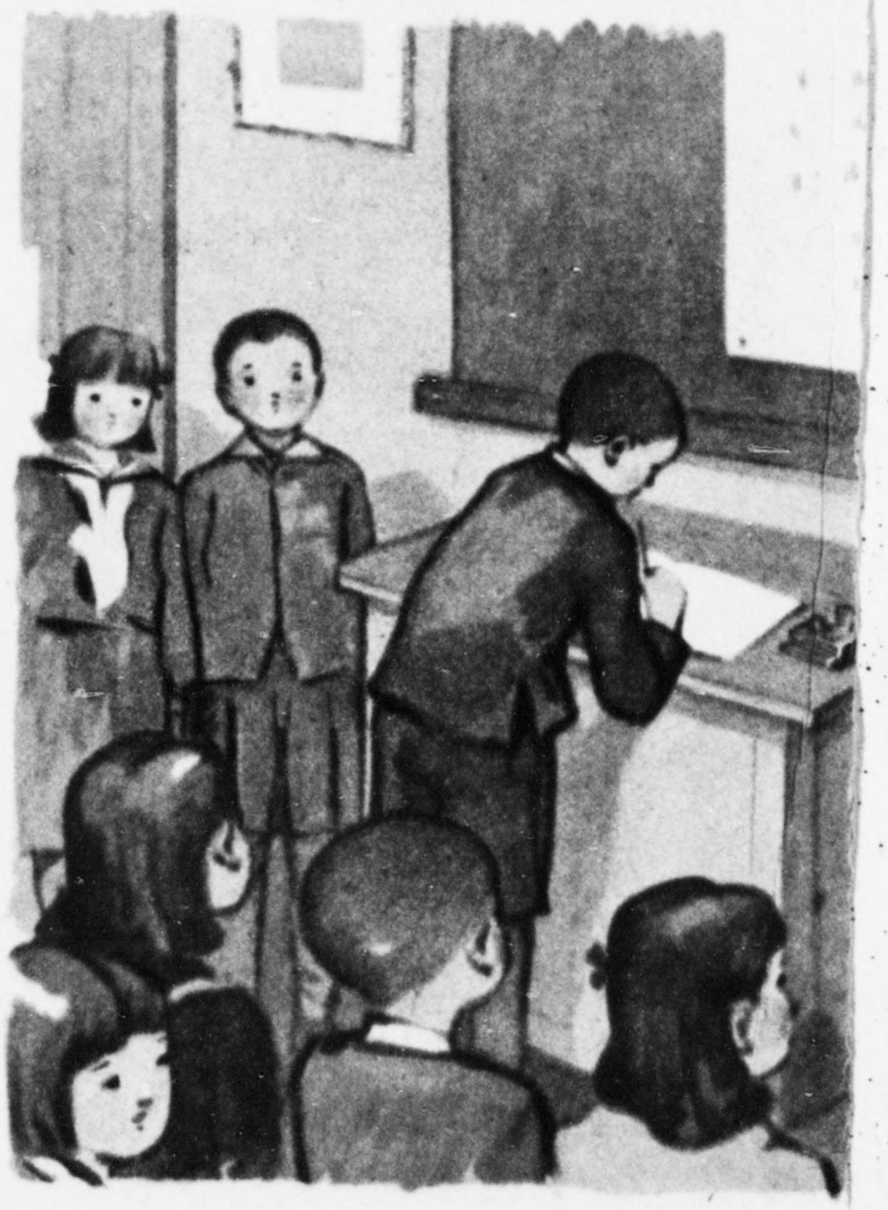
DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

五　青少年赤十字團の登録のしかた

一つの学級が、生徒や先生で相談のうえ青少年赤十字をつくったら、日本赤十字社の地方支部に登録することになっている。そうして、支部はそれを、日本赤十字社の青少年赤十字課に登録するのである。

登録に必要な書類・記章等は、各都府縣の赤十字社支部の青少年赤十字係に申込めば配布される。

登録の際は、團員一人について五円を赤十字社に納めることになっている。そう



DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

分團会議

して、この登録費は、なんらかの方法で團員自身がつくり出したものでなくてはならない。登録費をうる方法には二つある。一つは先生の指導のもとに立てられた計画にもとずいて、團員が集團的に働く場合と、一つは團員が個々に働く場合である。登録費を出すこの制度を喜ばない人々もあるであろうが、この制度は教育上の見地から十分考えられたものであって、これにより少年・少女は、新日本のよい公民として、自他の幸福に対する義務の観念をはっきりと意識することができるのである。

團を経営していくのには、十分な資金が必要である。この資金は日本赤十字社の成人社員が受け持つのであるが、團員である少年・少女もまた自分たちの事業の費用

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

は自分で受け持つようにしなければならない。このような組織で行けば、少年・少女たちは、自分の住む社会に対する態度を向上させる機会を持つことができるわけで、團員たちは、なにか仕事を始めたらこれを終りまでやりとげるという態度をのばして行けるであろう。

また、これと同時に仕事全体についての責任を理解することができる。

このようにして、少年・少女は、はじめて青少年赤十字の團員となり、世界六十四か國の青少年たちと手をつないで健康や安全についての事業を進め、自分たちより不幸な子供たちのためにつくし、他の國々の青少年たちについて学び、その友だちとなるという利益をうけるのである。（青少年赤十字の事業の項を参照）

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

六　どうして登録費をうるか

団員が自分たちの登録費や団の経費をうるのには、まず、自分たちのできることであってしかも勉強になり、他人のためにも役だち、同時に採算の採れるものを考えなければならない。

その実施にあたっては、保護者にまず十分な了解を求め、団員に対しては、その趣旨の説明、仕事の進行中と事後の指導をおろそかにせぬよう注意して、その教育的効果を十分発揮するようにしたい。団員が個々に働く場合はことに注意がたいせつである。

その方法については、都会と農村、それぞれの学校などによって差異はあるが、次の事項は参考になると思う。

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

1 工作品の販賣

あり合せの材料で適当な工作品を作って賣る。

たとえば、なべ敷とか、熱いなべをつかむものとか、また、あきかんからは、ろうそく立て、カンテラとか、マッチ箱では、折針入れとか、それから小さなおもちゃ、人形とか、わら細工とか、その他なんでも團員の手でできてよく賣れるもの。

そうしたものを作るのには、先生も生徒もしぜん近くの授産場や、工場を訪問・見学することになって、團員は実社会の一部を知ることになり、学校で習ったことを実際に活用することによって学習に対する興味もいちだんと増してくる。

2 自轉車の修理は青少年たちにふさわしい仕事である。

3 新聞配達。

4 野菜採集の手傳い。

5 野菜や花の苗つくり。

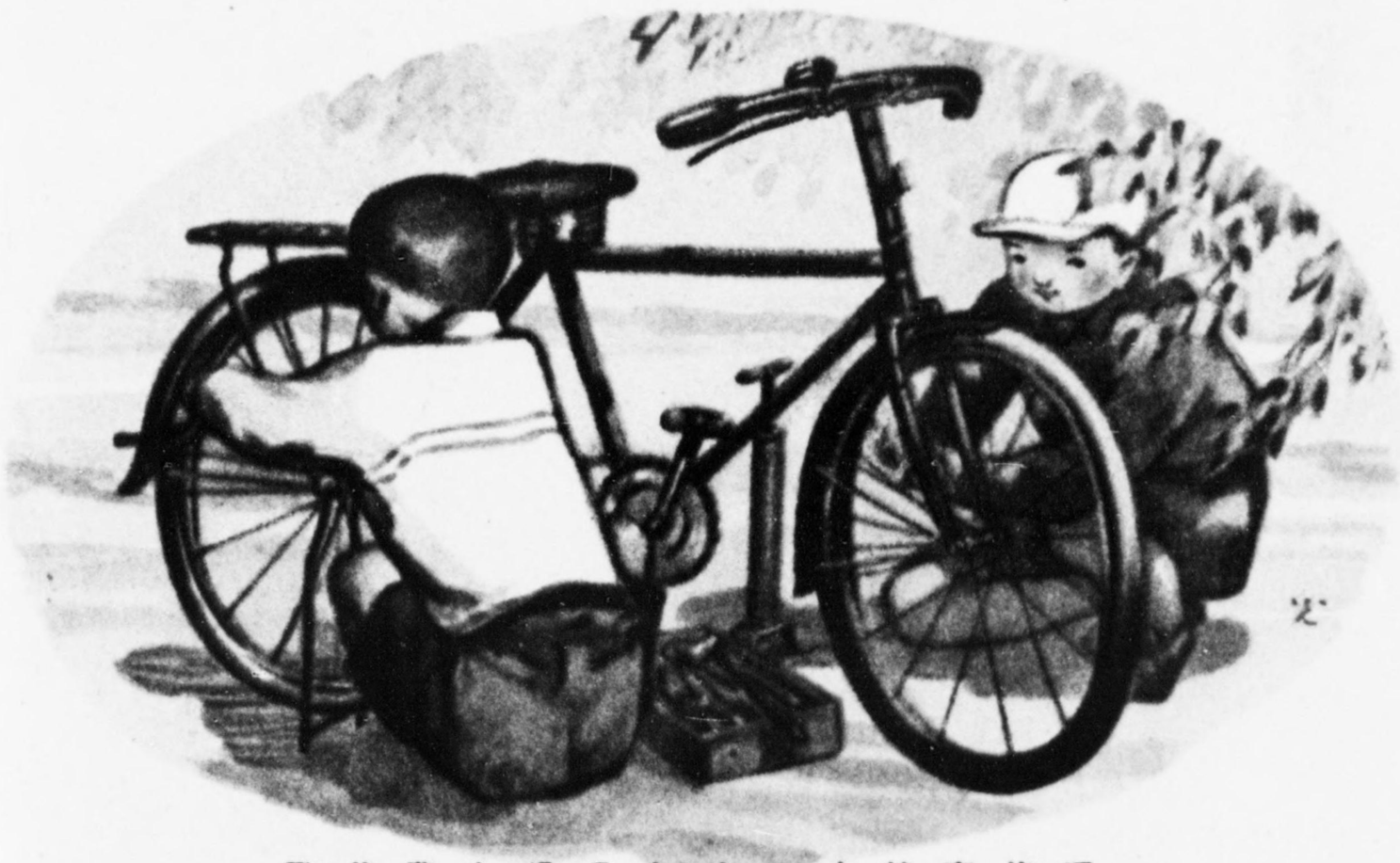
6 魚を採って賣る。

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

七　登錄費はどのように使用されるか

登錄費は青少年赤十字の機関誌代にあて、あまりのあった時は青少年赤十字基金として積立てておいて、少年・少女のための事業に使用される。したがって、事務費にはいっさいあてられないのである。

雜誌は、青少年赤十字團員の意見の発表機関にもなるし、團の機構を研究しようとする者にとっては研究資料ともなる。また、先生方にとっては



登錄費を得るための自轉車修理

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

登錄費を得るための手藝品作り

っては指導上の有力な参考資料として使用できるものである。

しかし、この雑誌は購読雑誌ではない。それは一分團（一学級）に対し一部の割で配布され、全團員が利用できるものである。だから加盟していない学級には配布されない。

八　登錄の更新について

青少年赤十字團は毎年四月下旬に登錄を更新しなければならない。いちど登錄した團でも新

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

年度になって全生徒の加盟意志がなければ、引き続いて登録をしないでよいようになっている。しかし、全生徒の意志が継続を希望するならば再び改めて登録をし、「ちかい」と希望をあらたにして出発するのである。

第一段階

九　青少年赤十字の事業

郷土社会への奉仕 (1)

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

郷土社会への奉仕 (2)

学級で先生と生徒が相談の結果、いよいよ加盟と決定したならば、この級が登録する時に各自が唱える青少年赤十字の「ちかい」を勉強し、そのうえで登録式を行うのである。

一組の團員が宣誓をしてめいめい署名表に署名すれ

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

ばそれで正式に青少年赤十字團員として認められることになる。その署名表は組の教室のかべなどの目につきやすい所に掲げておく。こうして團員ははじめて青少年赤十字の記章を胸につけることができるのである。

赤十字記章は博愛のしるしであって、赤十字條約によって保證され、加盟國は、法律によってそのらんようを禁じている。

第二段階

青少年赤十字團員の標語は「奉仕」

栄養の勉強

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

である。團員は人のため、自分の住んでいる郷土社会、國家と世界のために奉仕をするには、まず自分の身体を強健にしなければほんとうに働くことはできない。だから團員は第一に自身の身体を強くすることに心がけ、たがいに協同して健康増進の実行につとめなければならない。

一　郷土社会への奉仕

A　入院中の患者に手工品や花を贈ること。

B　学校で社会科の時間に家庭や学校、市町村に対する奉仕の仕事の実行方法を研究し、その実行計画をたてること。

C　公共の場所の清潔をはかり、美化をくわだてること。

(1)　社会科の時間に研究題目として、道路・公園その他の公共の場所の狀況を調べる。公共の場所とはどういう場所をさすか、なぜこういう場所は不潔になりやすいか、もしそれが実情であればその理由を調査するなど、そのうえで青少年赤十字團員としては、こういう公の場所の改善を、大衆の公徳心にうったえ、わるい習慣をためなおすのには、どのようなことをしたらよいだろうかということを研究する。

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

病氣の人を慰める

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

(2) この運動の重要性を強調する都市美化運動、講演会のような学校集会の計画をたてること。

(3) 國語あるいは作文の時間に、または、前記の講演会で團員の発表する講演の原稿に、すでに社会科で研究調査した資料を内容としてとり入れる。一方團員たちの両親、保護者をはじめ、このような運動に関係のある團体の指導者や、その土地の有力な人あてにこの運動の趣旨を説明したてがみを書き、團の事業に理解を持ってもらうとともにこの運動に協力するようこんせいするのである。もちろん、そのてがみの内容には、この事業およびこの運動の趣旨をはっきりと示し、協力指示をあおぐにしても具体的に表現することがたいせつである。

(4) こういう運動に用いるポスターは、図画の時間を利用して製作して大衆の注意をひく場所に張り、大衆がこのような公の場所の清潔美化に関心を持つようにする。

(5) 團員は校長あるいは先生の許可を得て、こういう運動に関係のある官公廳の係官に面会を求めて、直接に公の場所の清潔美化運動計画をする。

附記

青少年赤十字團の指導は、公の場所の清掃浄化にのみ力を入れるのではなくて、むしろ、團員たちのたいせつな役目は、従來の大衆のわるい習慣をためなおして、公の場所

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

を尊重し、美化する精神をよびおこすことにある。

D 個人衛生と安全

團員は、協力して簡單な個人衛生の規則をつくり実行する。

(1) つとめて戸外運動をして日光によくあたること。
(2) いつも新鮮な空氣を呼吸するように心がけること。
(3) 身体を清潔に保持すること。毎日身体をよくぬぐい、できるだけ入浴すること。
(4) 毎日十時間は睡眠をとること。
(5) かたよらぬ食事をとること。米・粉等の主食のみによらず野菜・果実・魚肉類をできるだけ適当にとること。
(6) 食物をよくかみこなす習慣をつけ、消化を助けること。
(7) 食事の時の礼儀作法に氣をつけること。

E 家庭や学校等に菜園を設けて野菜を作ること。

F 学校で「給食」の計画をたて、かたよらない食事をとらねばならぬという観念を養うとともに、團員たちに適当な食事のとりかたを奨励すること。

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

G　安全運動の計画と実施

道路を横断する場合、道を歩くとき、自轉車に乗る場合、混雜する場所を歩くときなどの注意や規則、火災予防の注意などを研究し、その実行運動を團活動の中にとり入れる。

二　全國的奉仕

青少年赤十字團員は、いつでも新生日本の公益に関心を持っていなければならない。すなわち少年・少女は、社会に対しどんな態度と責任を持たねばならないかということを研究し、適当な機会にはいつでも世のため國のために

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

つくすことができるように心がけていなければならない。

現在の團員は、小さい公民ではあるが、將來のよき公民となる道を学んでいるという自覚を持つことが必要である。

A　國内学校通信（アルバム交換）

各地の加盟團相互に、通信や、アルバム等によって、その郷土や、團の狀況を報告しあい、おたがいの啓発に資するとともに友好をはかること。（詳細は学校通信パンフレットを参照されたい）

B　病院や、社会施設への奉仕

A　小兒科患者に贈るおもちゃや絵本などを作ること。

B　患者や收容者のたのしめそうな文や詩集を作ること。

C　子どももおとなも喜びそうなポスター、かべかけ、裝飾品等をつくること。

D　入院者の喜びそうなごらく用品をつくること。

三　國際的奉仕

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

青少年赤十字團員は、自分は國際的な團体の一員であるという廣い考えのもとに世界の進展する狀況をながめながら啓発されるわけである。世界平和の実現は、一國の國民が他の國民を眞に理解することによって定まるともいえるのである。

國際学校通信（アルバム交換）

各國の青少年赤十字團と、通信や、アルバムおよび製作品などを交換し、團員の國際的知識の育成と外國團員との理解親善をはかること。（詳細は学校通信のパンフレットを参照されたい）

十　学校で青少年赤十字を結成するにはどうするか

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

第一段階—分團

一学級の全生徒が登録をし、誓約をすますと、一分團が結成されて正式に青少年赤十字團分團として承認されることになる。

次に、分團として実行することは、役員を選挙して分團を運営する機構を整えることである。すべて分團の運営は分團の全員をもってする分團会議の議決にもとずいて行なわれる。だからまず、分團員の中から分團を代表し、分團会議を司会する議長を選ぶ必要がある。他に副議長・記録係・会計係おのおの一名を選挙しなければならない。

学級の担任教師は、分團の補導責任者として、分團が事業を遂行するにあたり、その事業が目的から離脱

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

することのないよう補導するとともに、青少年赤十字の計画と学習指導とを合致させることに努める。

なお、このような民主的團体の結成や、役員の選挙については、一定の法則があるから、指導者は文部省の指示する会議の諸法則に従ってやっていただきたい。

第二段階—團

一学校内の分團を総かつして團を組織し、赤十字社支部その他外部との事務的交渉は團を通じて行う。

團の運営は、分團議長で組織する團会議の議決にもとずいて行なわれ、その議長、副議長および團記録係、團会計係は分團議長の中から互選する。

團会議の議員の数は学校の大きさ、登録した分團の数によって決定されるべきであるが、あまり大勢ではかえってまとまりにくいから、先生はその点を考えられて人員を決めるように指導しなければならない。

團会議の責任は、團の事業計画をたてて、それを遂行することにあるのであるか

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

ら、学校内の各分團が青少年赤十字の奉仕の事業に平均に参與する機会を與えられるようにしなければならない。團会議で決定されたことは團議員が各分團にくわしく報告し、分團員は團で決定された事業計画をどの程度に実行するかを決定する権限を持っている。各分團がそれぞれの特徴を生かし、たがいに協力する時は、そこにりっぱな團活動が生れる。

事業の実施にあたっては、團および分團では必要に應じ、たとえば、保健委員・宣傳委員などの実行委員を決める。團員はだれでも役員や、委員になる特権をもっている。すべて役委員は、適当な時期に交替して、各團員に役委員としての経験をさせるようにしたい。

学校長は補導責任者として團の監督にあたる。また、職員中から團の補導にあたる先生を決めておく必要がある。

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

学校通信（1）
—材料を集める—

十一　青少年赤十字の名称

青少年赤十字團の名称は、その学校名をかしらにつけて呼ぶ。たとえば、東町中学校の團は『東町中学校青少年赤十字團』というようにする。

分團は、その所属する團内の編成順位に従って東町中学校青少年赤十字團第一分團、第二分團というように呼ぶ。

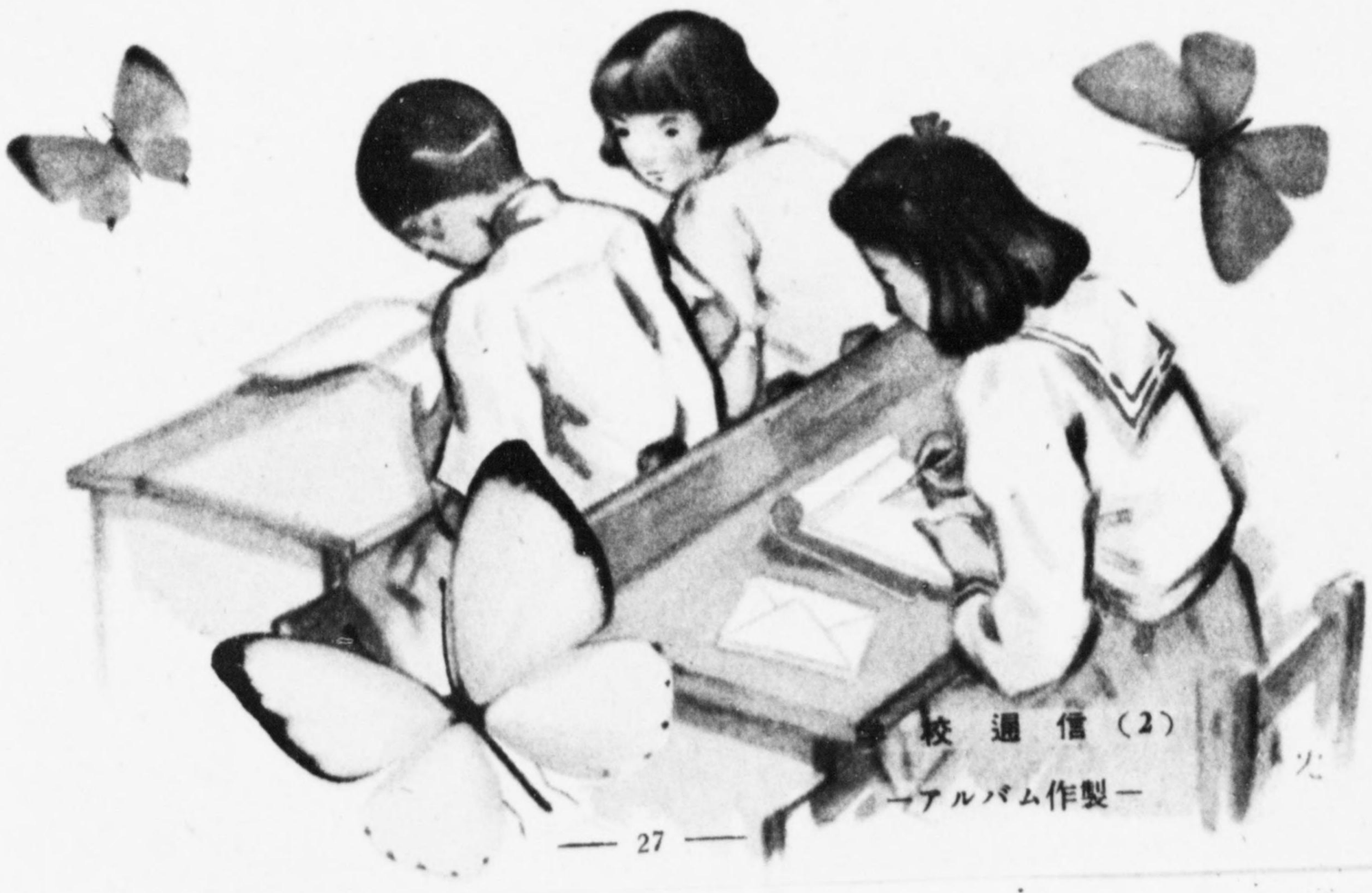
十二　学校の課程と青少年赤十字の関係

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

青少年赤十字が、理解ある指導者の周到な計画のもとに、生きた教材をとらえ学習とたくみに合致させて指導を進めて行けば、團員に民主國家の公民としての資質を育成するうえに非常に役だち、日本新憲法の企図する教育目的を達成するうえに大きなこうけんをすることになる。

だから指導者は、この重要性を考えて、常に、次のような青少年赤十字の事業計画と学習、團員の環境等との関係について考え、その万全を期していただきたい。

1 青少年赤十字團員に、團員の家庭および住んでいる郷土の狀況を調べさせ、



学校通信（2）

—アルバム作製—

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

家庭と社会のどんな活動に従事させることがいっそう責任ある態度をとるようになるか。

2　團員に工作を課する場合も、それらの作品が兒童のふくし施設、赤十字病院その他社会事業施設等へのいもん品として役だてられたならば、團員は工作品製作にますます熱を加え、興味を持つようになるとともに、自分たちより、もっと不幸な人々をなぐさめるためにこうけんすることがどんなに價値のあることであるかをさとらせる手段ともなるであろう。

3　團員が國際学校通信を行なうことによって、他國民をよりよく理解し、友愛を深めることによって、なお、いっそう國際親善の関係を促進するとともに、博愛奉仕を目標として精進する二千万の同志の一員であるという意識を強くするにはどうすればよいか、

4　少年・少女に対して赤十字團員であることを自覚させ、いつもその意識のもとに團員としてはずかしくない行動を取らせるようにするのにはどうすればよ

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

いか。

5　青少年赤十字團に加盟したことによって、学習に対する興味を増し、理解を深めるようにするにはどうすればよいか。また世の氣のどくな人々に対する同情心を増し、自分の幸福感を増すようにするにはどうすればよいか。

青少年赤十字の計画はどの学校にも、どの学科にもよくあてはまるものであるが、また、生徒の興味とか理解力とかの程度をよく考えて、その社会的成長と発展とをうながすのに都合のよい活動に従事させることが必要である。

また、学校としては、種々の計画をたてる場合、青少年赤十字のためにも、学校としての行事を遂行するうえにも、ともに有意義な活動計画をたてるようにしたい。

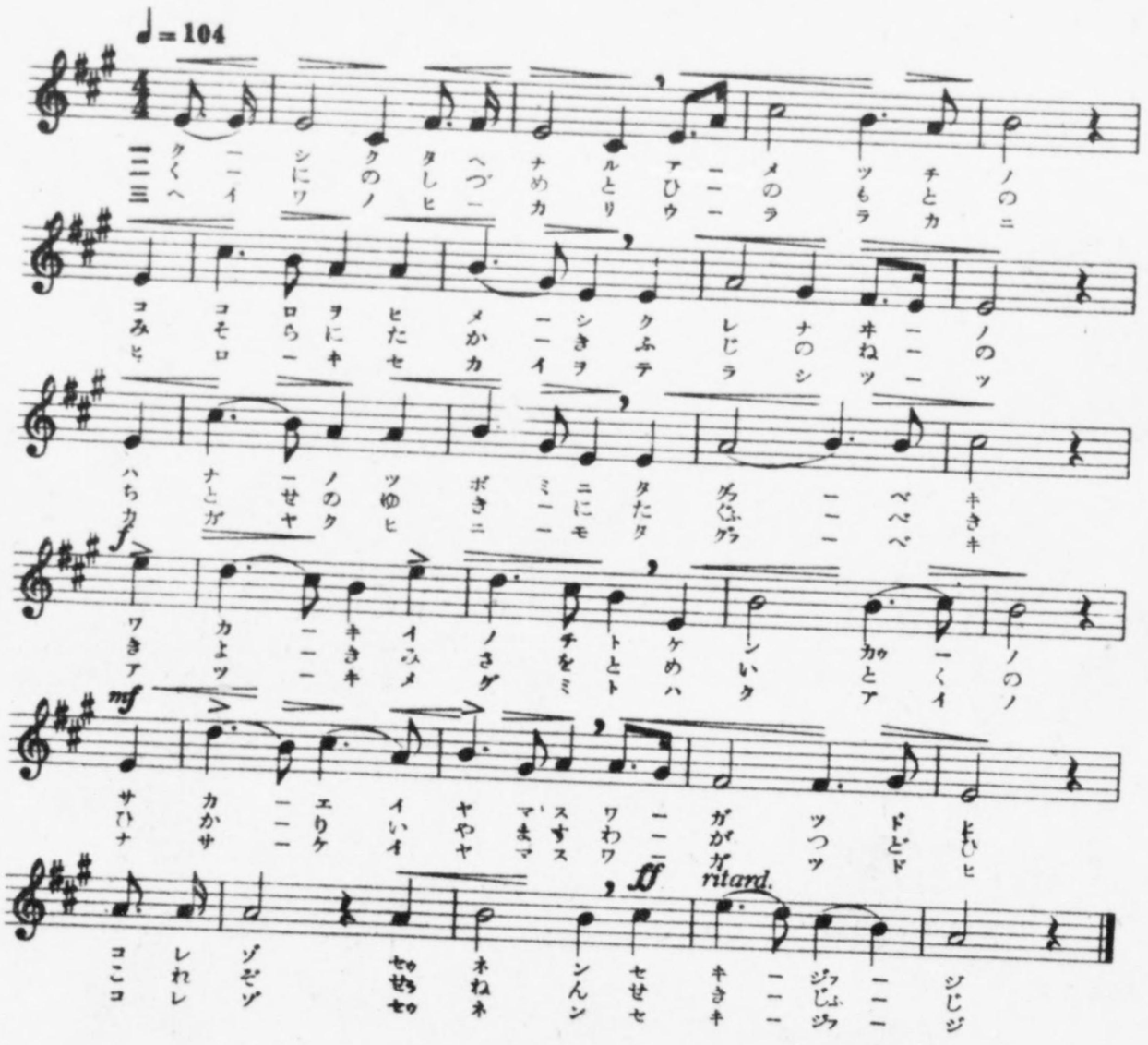
各團は、毎年、学年度のはじめに、赤十字社から青少年赤十字事業予定の報告を受けることになっているから、学校当局は、生徒の教育に最も重要と思われる活動をその中から選んで実施するとよい。

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

世界の友と

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

日本の少年赤十字



一

奇しく妙なる天地の
心を秘めし紅の
花の蕾にたぐふべき
若き命と健康の
榮いやますわがつどひ
これぞ少年赤十字

二

國のしづめと日の本の
み空に高き富士の嶺の
千歳の雪にたぐふべき
清き操と明德の
光いやますわがつどひ
これぞ少年赤十字

三

平和の光麗かに
廣き世界を照らしつゝ
輝く日にもたぐふべき
あつき惠と博愛の
情いやますわがつどひ
これぞ少年赤十字

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

團員バッヂ

青少年赤十字章

	編集発行人	本庄俊輔
昭和廿三年七月十日印刷	印刷人	原喜平
昭和廿三年七月廿日発行	発行所	東京都港区芝公園五号地 日本赤十字社
	印刷所	東京都板橋区志村町五番地 凸版印刷株式会社

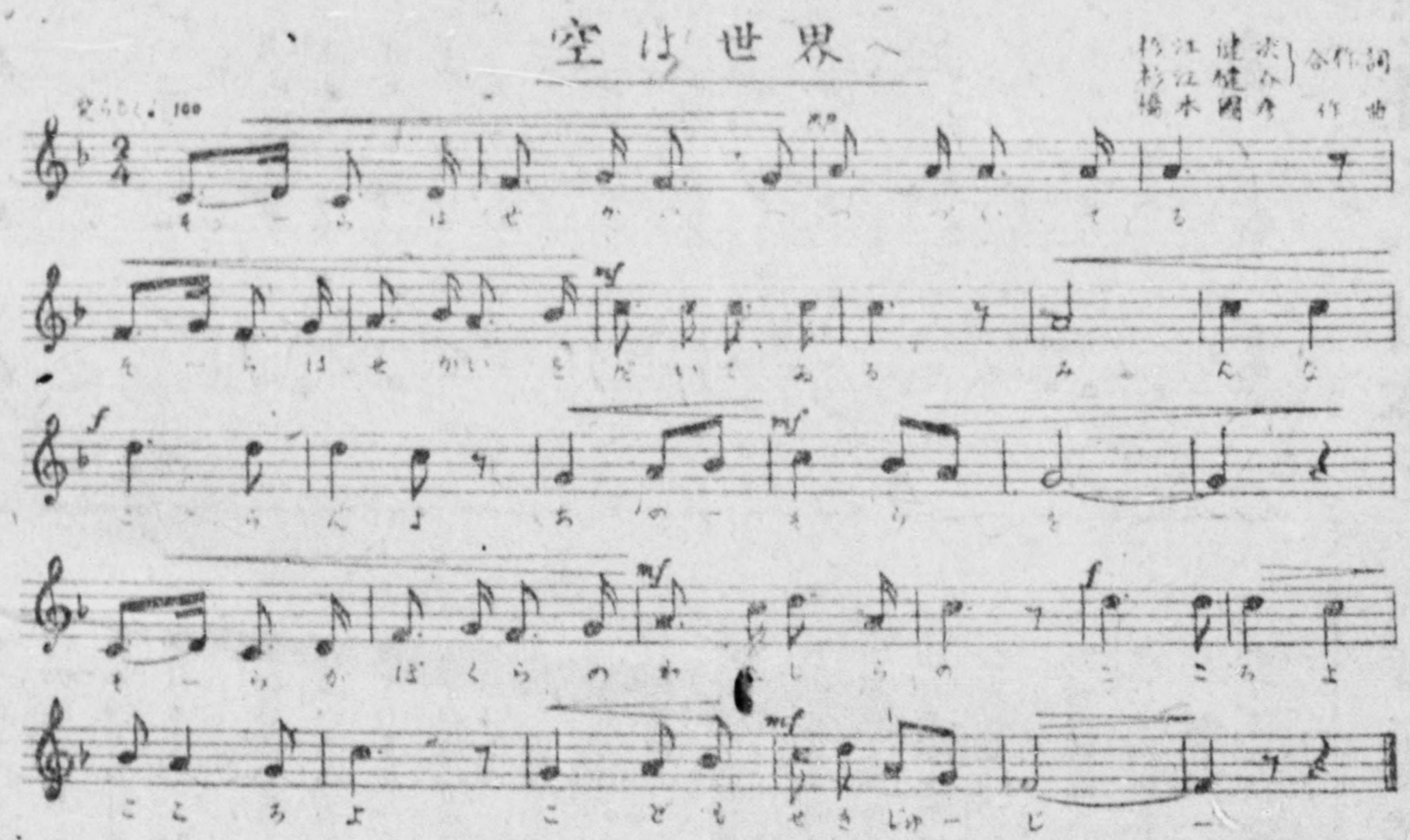
DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

日本赤十字社

赤十字パンフレット第三号

凸版印刷株式会社印刷

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013



日本赤十字社 撰定
橋本國彦 作曲

空は世界へ

一、空は世界へ
空は世界を
みんなごらんよ
空が僕等の
こゝろよこゝろよ

二、花は誰にも
花はやさしく
みんなごらんよ
花が僕らの
すがたよすがたよ

三、星はどこでも
星は伸よく
みんなごらんよ
星が僕らの
ほこりよほこりよ

四、旗は十字の
旗はかがや
みんなごらんよ
旗が僕らの
しるしよしるしよ

つゝいてる
だいている
あの空を
私らの
こども赤十字
匂つてる
匂つてる
あの花を
私らの
こども赤十字
光つてる
光つてる
あの星を
私らの
こども赤十字
愛の旗
愛の旗
あの旗を
私らの
こども赤十字

みんな仲よく手をくんで「こども赤十字の歌」をうたいましょう

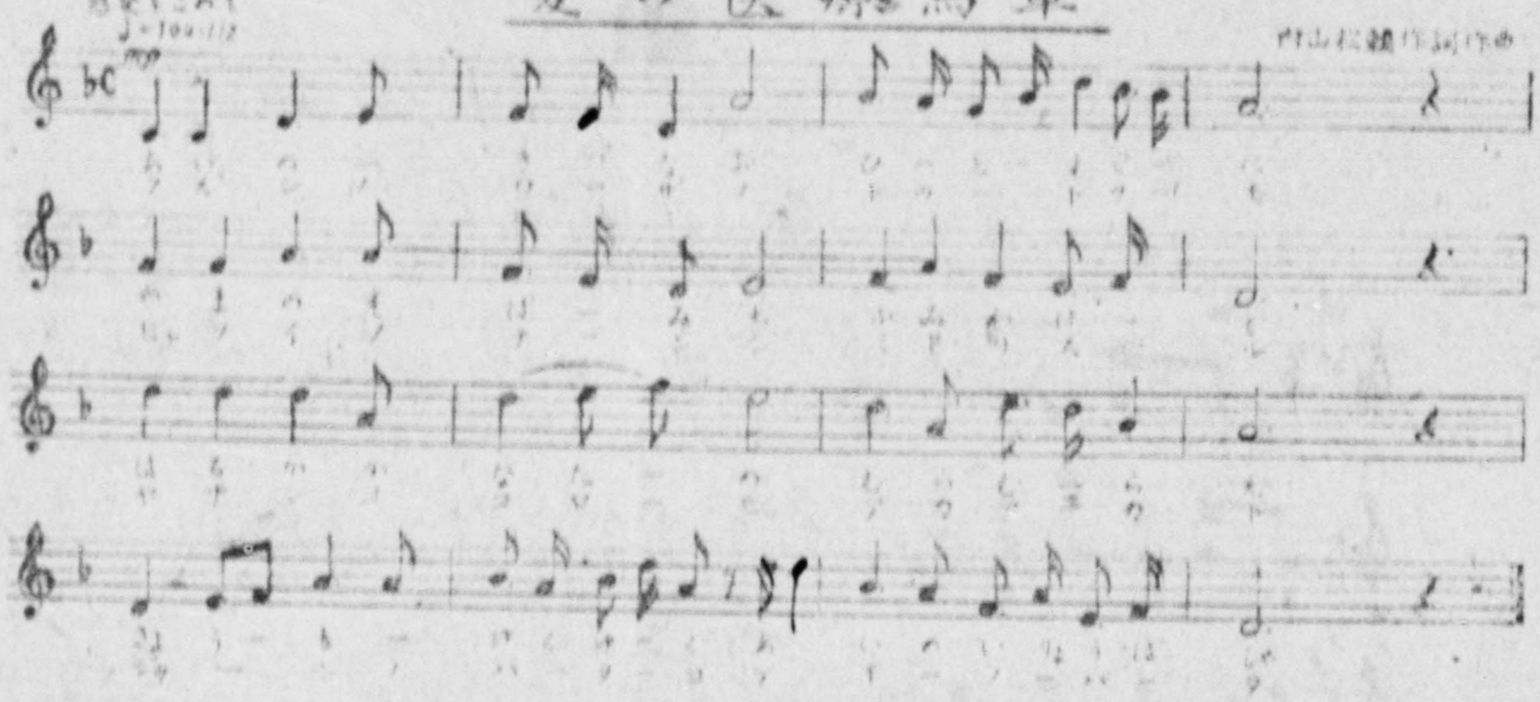
—日本赤十字社新潟支部—

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

愛の心で住よい日本を築きましょう

主催　東蒲原地方事務所
協賛　日本赤十字社新潟支部
後援　新潟日報社　新潟縣

愛の医療馬車



(一) 愛の絆を一すじに
山の峠道踏みわけて
遙か彼方の村々へ
今日もゆく〳〵愛の医療馬車。

(二) 医師の術の尊くも
白衣の天使看護する
優し心もあか〳〵と
十字の旗よ愛の旗。

(三) 野越え山越え谷越えて
熊棲む里や森の奥
病患悩む人々の
心に通う温情さ。

(四) 医療を背に勇しつ
北風寒き泥濘や
道なき道を辿りつゝ
伏屋に點す愛の灯よ。

(五) 野路の村雨濡れたとて
黒馬よ嘶け仁愛の
この胸ぐつと抱きしめて
明日はあの丘越えてゆく。

☆　☆　☆

(六) 粗末の煙りの懐しく
薄明に聞く診療に
愛し吾が兒の手をとりて
宮ぶ母のいぢらしさ。

(七) 医療の光閉されし
長き病の起き臥しに
今日を待てりと涙しつ
老いたる父は泣いている。

☆　☆　☆

(八) 郡司の長の純情に
今この村もあの町も
歓喜の聲ともろともに
明け〳〵ゆく空の光あり。

(九) 夢は荒野にさらすとも
希望輝け人の子よ
「山のあなたの空遠く
幸住むと」詩人はいう。

☆　☆　☆

(十) 悩める者の救わるゝ
その日を祈る赤十字
旗風清きこの朝
山の小鳥よさようなら。

☆　☆　☆

六日より全館歳暮大賣出し
皆様に最も親しみのある
小林百貨店
電話新潟三八七〇番

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

Substance of One Day Training Course
of Junior Red Cross

1. Title : Junior Red Cross One Day Training Course

2. Date : November 7, Sunday, 8:00 A.M. to 4:00 P.M.

3. Place : Niigata Elementary School

4. Purpose : The purpose is to let the children understand the spirit of Junior Red Cross which is to be willing to do good for other people and also give them understanding concerned on democratic living.

5. Attendants:
Boys & girls representatives 2 each from the 5th and 6th grade of elementary school in this Niigata City. Also 1 person in charge of social course.

6. Leader : Niigata 1st Normal School, Shigeru Tanabe
Niigata Girls' High School, Michiko Hotta

7. Need utensil of attendants:

Writing utensils, towel, lunch, and a pair of slipper to be used in the school.

8. Report to the Red Cross Niigata Chapter, Relief Section till forenoon of 6th November, the grade, name and age of the attendant.

9. Lecture : Mr. Croes, Welfare Officer, Niigata Military Government Team

***** ***** ***** *****

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

Schedule of the One Day Training
Course of Junior Red Cross

November 7, 1948

8:00 A.M. -- 8:15 A.M.	Group organization
8:15 A.M. -- 8:40 A.M.	Beginning of course Greeting .... Uchiyama Chief of Relief Section
8:40 A.M. -- 8:55 A.M.	Practice of the group song.
9:00 A.M. --11:35 A.M.	Guidance
11:35 A.M. -- 1:00 P.M.	Lunch Recreation Lecture (1) Mr. Croes, Welfare Officer Niigata M.G. Team (2) Mr. Fushigi, Chief of Education Section, Niigata City Movie
1:00 P.M. -- 2:40 P.M.	Guidance
2:40 P.M. -- 3:00 P.M.	Course closing ceremony

***** ***** ***** ***** ***** *****

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

file

Junior Red Cross Consultation

Date: October 15 at the Red Cross Hall

Program:

1. Opening ..... 1:00 P.M.
2. Greeting ..... S. Okada, Governor
3. Greeting ..... Mr. Croes, N.M.G.T.
4. Greeting ..... K. Kubota Secretary, Red Cross Niigata Branch
5. Lecture on "Junior Red Cross" .. U. Uchiyama, Chief of Relief Section, Red Cross
6. By attending the Training Center.
   S. Tanabe, Student of Niigata First Normal School
   M. Hotta, Student of Prefectural Girls' High School
7. Consultation.
8. Closing ..... 4:00 P.M.

***** ***** ***** *****

Remarks:

Attendants

(1) Principals of All High School, Secondary High School, Elementary School in Niigata City.

(2) Teachers in charge of Social course.

(3) Prefectural & City officials in charge of education.

(4) Reporters.

(end)

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

赤新秘發第九一號
昭和二十三年十月八日

日本赤十字社新潟支部長　岡田正

新潟軍政部　厚生課長殿

青少年赤十字團懇談會開催に關する件

拜啓　赤十字事業に關しては常に御懇篤な御指導御援助を賜り有難く御禮申上げます。

偖而今回當支部にをきましては左記により在市新制各高校、中學校、小學校の校長、社會科擔任者、縣、市教育關係官並報導關係者の參集を得て青少年赤十字團懇談會を開催致すことになりました。就きましては御繁忙の折萬だ恐縮に存じますが當日御臨席の上御訓話の榮を得度く御案内申上げます。

日本赤十字社新潟支部

日本赤十字社新潟支部

（新秘八六）

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

青少年赤十字團懇談會

十月十五日　支部講堂に於て

次第

一開會	午後一時	
一挨拶	支部長	岡田正平
一挨拶	新潟軍政部厚生課長	ピーター ジー クロース氏
一挨拶	支部參事	窪田國三郎
一青少年赤十字について	支部救護課長	内山卯之松
一トレーニングセンターに參加して	新潟第一師範生徒 縣立女子高校生徒	田邊茂 堀田道子
一懇談		
一閉會	午後四時	

以上

日本赤十字社新潟支部

(東新 八六)

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

HANDBOOK

on

JAPANESE JUNIOR RED CROSS ORGANIZATION

in

SCHOOLS IN JAPAN

as

Reviewed and approved by the Educational Division, C. I. & E. Section, and the Welfare Division, Public Health & Welfare Section, General Headquarters, SCAP.

RECEIVED
5 APR 1948

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

INTRODUCTION

Our Junior Red Cross was founded in 19[illegible] and is now over twenty years old.

During these years, it has contributed something remarkable to the development of school education in general as an auxiliary institution carrying out practically and substantially what it has taught school children, inculcating them, at the same time, with the principles and ideals of humanity, altruism and international good-will and also promoting health.

In order to keep step with the reformation of our educational system based upon democracy, the Junior Red Cross has also altered and improved its structure and substance in many different ways accordingly.

This brochure, "The Manual", has been published for those who have been connected with the Junior Red Cross and elder members of the same, briefly describing such alterations as above mentioned.

This "Manual", unlike such books as have heretofore been published, has laid emphasis chiefly upon things practical, not upon those theoretical.

We have no doubt that those who have taken leadership of this institution and been interested in its activities will find a definite principle of education in this brochure.

They must clearly understand that the Junior Red Cross is not an institution intended to teach children things theoretical, but only to help them put in operation what they learn at school.

It goes without saying that this "Manual" is simply a short account of the Junior Red Cross, not touching upon the details of its structure and subject matters.

So, it is quite natural that there would arise various subjects questionable on the part of school teachers or leaders of the Junior Red Cross Groups.

In such cases, they are requested to ask us without reserve anything that they do not understand or to study it by themselves so that they can carry out the Junior Red Cross activities successfully.

Upon publishing this "Manual", we cannot but express our heartfelt thanks for the invaluable advices given us by our American Junior Red Cross Adviser to say nothing of the generosity and kindness shown us so signally by the American Junior Red Cross as to have furnished us with the printing paper more than enough for this brochure.

September, 1947.

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

WHAT IS JUNIOR RED CROSS?

Junior Red Cross is the boys and girls membership in a Red Cross Society. Japanese Junior Red Cross is a division of the Japanese Red Cross and is the Red Cross in the schools. The Junior Red Cross is also a division of the International Red Cross organization.

Junior Red Cross functions in the school. This means that Junior Red Cross organization and activities are integrated with regular classroom work. Junior Red Cross has a definite program of activities. They are distinct and separate from adult activities; however, there are occasions in which Junior Red Cross membership may work in partnership with adults.

The success of Junior Red Cross depends upon the combined interest and efforts of school authorities and teachers and the Red Cross Chapter. It is essential that the Junior Red Cross program serve as a contributing factor in vitalizing learning in school and in making it function in the daily lives of the children in the home and in the community.

WHO MAY BE MEMBERS OF JUNIOR RED CROSS?

All children of elementary school, lower middle, and high school are eligible for membership. The membership is on the group basis. There is no individual membership. Schools join by a class group. Therefore, the boys and girls are eligible for membership in the Junior Red Cross from the time that they enter the elementary school until they complete the high school. When they finish the high school they are no longer eligible for Junior Red Cross but are eligible for adult membership in Japanese Red Cross.

WHAT ARE THE OBJECTIVES OF JUNIOR RED CROSS?

The objectives of Junior Red Cross may be defined as follows:

1. To help the children to learn the full meaning of good citizenship.
2. To promote health and safety.
3. To help the child to cultivate the spirit of Service and an understanding and friendship for his community, the nation, and the world.

The objectives of Junior Red Cross are the same as that of the school, the homes, and other youth organizations. The objectives may be summed up by saying that the chief purpose of Junior Red Cross is to help give the boys and girls an opportunity to learn to be good citizens by acting now as good citizens.

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

WHAT IS THE JUNIOR RED CROSS PLEDGE?

"I, AS A MEMBER OF THE JAPANESE JUNIOR RED CROSS, WILL TRY TO KEEP MY BODY AND SPIRIT HEALTHY, AND STRONG, AND WILL DO MY BEST FOR THE BENEFIT OF HUMANITY, IN MY COMMUNITY, THE NATION, AND THE WORLD."

HOW TO REGISTER JUNIOR RED CROSS IN A SCHOOL

As soon as a school class with teacher's approval has decided to join Junior Red Cross it must be registered at the Chapter Headquarters of the Japanese Red Cross and the Chapters must register it at National Headquarters.

Forms and badges and information about registration may be secured from the Chapter Junior Red Cross leaders.

The annual registration fee shall be five yen per member. For example, in a class of 40 pupils, the membership fee for entire class group will be 200 yen. This fee is sent to Chapter Headquarters with the proper forms filled in with requested information and the Chapter forwards the entire amount of the membership fee to National Headquarters.

It must be noted that the fee in question must be money earned by the members themselves in some way or the other. When members of the group or sub-group wish to earn money there are two ways: one is to work en masse as a group after planning has been done under the leadership of the teacher; and the other is to earn money individually. Under the present circumstances the teacher should consult parents and explain to them the purpose for which children wish to earn the money.

There will be many persons who will not favor the new system of the registration fee; but it should be considered from the educational point of view, that is, how this plan will teach the boys and girls to be good citizens of New Japan. This may be one way to impress boys and girls of their sense of duty to themselves and to the welfare of others. To maintain an organization there must be sufficient financial support.

The senior membership of Japanese Red Cross will have the responsibility for financing the administration of the Junior Red Cross, but boys and girls will be responsible for financing their projects. Through this plan adults will assume their appropriate responsibility in giving youth opportunities to grow and develop in social attitudes. At the same time boys and girls will develop the attitude of beginning projects and seeing them through to the end. They will understand and feel the responsibility of the total job.

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

WHY IS THERE A JUNIOR RED CROSS MEMBERSHIP FEE?

When boys and girls join a National and an International organization, they are given certain privileges which do not come without responsibilities, both financially and morally. Boys and girls who join Junior Red Cross pledge themselves to help others and to make their country a better place in which to live. They cannot use a national organization's opportunities and its channels without realizing that it cost something to maintain the organization which will bring them the opportunities for serving nationally and internationally. In Junior Red Cross boys and girls have the privilege of joining hands with children in 64 nations of the world for the purpose of promoting health and safety programs, serving children less fortunate than they, and learning about children in other countries and how to make friends with them. (See "What Junior Red Cross Members Do" - how learning can be projected into active participation - p. 4). Every member of a democratic organization should learn about the privileges it offers, understand how it operates, and realize how his membership can make it a stronger and better organization for the welfare of all the people.

Thus a membership fee teaches boys and girls that privileges do not come without cost. It teaches them money values. It gives them an opportunity to perform in an organization in a manner in which he will perform as an adult.

HOW MAY THE MEMBERSHIP FEE BE EARNED?

When boys and girls begin planning ways to earn their membership fee, they should study their community and find the ways which are within their abilities and which give them the satisfaction of learning and being helpful at the same time they are earning. The following suggestions may guide the teacher and pupils in making plans to earn the membership fee:

1. Make craft work from native materials to sell. This may be a pad on which to set hot dishes or it may be a dish lifter which protects the hands from being burned. It may be candle sticks made out of cans, lanterns, broken needle cases made out of match boxes, small toys, dolls, and other articles which are easy for children to make and which will have sales value.

   In making these items teachers and children may wish to visit a nearby factory to learn all they can about their community industries. This will make an interesting lesson in school classes.

2. Repair bicycles.

3. Deliver newspapers.

4. Help gather vegetables.

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

5. Weed vegetable or flower gardens.

6. Sell fish.

HOW WILL THE MEMBERSHIP FEE BE SPENT?

All membership fees will be used to publish a Junior Red Cross magazine when National Headquarters has the facilities for publishing it. The magazine will be an organ through which Junior Red Cross members may speak and learn more about their organization and which teachers may use as excellent reference material in their classroom work.

The magazine will not be a subscription magazine. It will be distributed to all membership groups on basis of one to a classroom registration. It will not be distributed to non-members.

HOW LONG DOES A MEMBERSHIP IN JUNIOR RED CROSS LAST?

A Junior Membership registration campaign shall be held every year in April. This may mean that a class group has registered as members of Junior Red Cross this year, but they may elect not to register as members the next year, however, if they wish to continue as members they must register again and receive new badges.

WHAT DO JUNIOR RED CROSS MEMBERS DO?

A. First Step.

After the teacher and pupils have discussed the Junior Red Cross and have decided to become members, they learn about the pledge which each member takes when the class group registers. Each class member is officially recognized as a member of Junior Red Cross when the pledge is taken and when he writes his name on the membership certificate which may be placed in a prominent place on the wall in the classroom. Now the member is ready to wear the Junior Red Cross badge. The emblem of Red Cross is assured by the Red Cross International Convention and its abuses are forbidden. When a member of the Junior Red Cross wears this emblem, he must not treat it as a simple badge but keep in his mind that this emblem is a symbol of humanitarianism not only internationally, but also in every community in the country.

B. Second Step

Junior Red Cross members around the world pledge themselves to Service. They learn to keep healthy and strong so that they may serve their community, their nation and the world. The services that Junior Red Cross members may do are as follows:

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

1. Community Service.

   a. Send flowers to sick patients in the hospital.

   b. Study in the social studies classes ways they may serve at home, in the school, and in the community. Then make plans to put into action the ways which they have found to serve.

   c. Plan campaign - "Keep Public Places Clean and Attractive."

      (1) In Social Studies class study the condition of the public places in the village. What is a public place? Why are they dirty? Are they unattractive? If so, why? What can we Junior Red Cross members do to improve the situation?

      (2) In language classes boys and girls may prepare speeches which they may give to public group meetings. These speeches should contain information which they have learned in Social Studies class about Public Places in their village.

      (3) Posters may be made in their classroom work to be posted in appropriate places in the city to remind people to do those things which will make the public places clean and attractive.

      (4) Letters may be written in language classes to the parents and to the leaders of all organizations and to the business men of the community explaining the campaign and asking them to support and cooperate with the movement. Specific suggestions may be made in the letter as to how they can cooperate.

      (5) Plan a School Assembly Program stressing importance of campaign.

      (6) School groups may personally interview village government officials and work out plans with them to keep public places clean and attractive.

      (Junior Red Cross members should not feel responsibility of doing the labor for keeping public places clean. Their duty should be to help educate people of community to respect public places and to form habits which will take better care of them.)

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

d. Each Junior Red Cross group should practice the simple rules of personal hygiene:

(1) Get plenty of outdoor exercise and sunshine.

(2) Keep body clean by taking a bath or washing every day.

(3) Sleep at least ten hours every night.

(4) Eat balanced meals. Eat fruit and vegetables with fish and rice and other main dishes.

(5) Chew food well so that it will be easily digested.

(6) Use good manners when eating.

e. Grow vegetable gardens at home and at school.

f. Help in the hot lunch program in the schools. Promote the proper ideas for balanced meal. Encourage all boys and girls to eat properly.

g. Promote safety programs. Plan a safety campaign. Learn safety rules for crossing streets, walking down the road, riding bicycles, building fires, throwing away rubbish, and other hazards which cause accidents.

2. National Service

Junior Red Cross members should be interested in the welfare of New Japan. They should always be ready to give a helping hand and to learn more about their responsibility to the community. They are citizens today learning how to be better citizens tomorrow. They may engage in following National Junior Red Cross activities.

a. Inter-Country School Correspondence. (See "How to prepare a School Album for Exchange with another School" which can be secured from your Chapter Junior Red Cross leaders.)

b. Serve Red Cross hospital.

(1) Make vases.

(2) Make toys for children patients.

(3) Prepare poem sheets for patients to read and enjoy.

(4) Make posters and wall hangings and decorations which both children and adults will enjoy.

(5) Make games which patients can enjoy.

(6) Make picture books for child patients.

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

3. World Service

Junior Red Cross members should become enlightened about the world. The realization of a peaceful world depends upon how much we know and understand about other people. The only activity that Japanese Junior Red Cross can offer in this Service is the School Correspondence Album Exchange. Contact your Chapter Junior Red Cross leader for the bulletin which explains how to prepare the album for exchange with a school group in another country.

HOW IS JUNIOR RED CROSS ORGANIZED IN A SCHOOL?

A. First Step

After all pupils in one class room have been registered and a pledge has been made by each member, then a sub-corps may be organized and be officially recognized.

The next thing to be done by the sub-corps is to create an organization by electing officers. There should be a Chairman who represents the sub-corps and presides over its meetings. A Vice-Chairman and a Secretary should be elected, too.

A teacher in charge of the class room shall guide the sub-corps and its members in their activities and shall take responsibility for keeping the group's activities consistent with the educational objectives. He should, insofar as possible, use the activities, including the organization activity, as a teaching tool. The activities should provide opportunities for children to practice what they are being taught.

(Certain parliamentary rules should be followed in setting up an organization and electing officers. The Junior Red Cross should follow that procedure which is recommended by the Ministry of Education.)

B. Second Step

On organization of over two sub-corps in a school, a Junior Red Cross Corps for the entire registered membership may be organized. This may be done so that each sub-corps may coordinate its activities with the other sub-corps of the school.

To organize the School Junior Red Cross several representatives from each sub-corps should be named by each group to represent them in the School Corps. The number of representatives chosen from each sub-corps may depend upon the size of the school or the number of registered groups. There should be a small group represented on this Corps because too large a group makes it more difficult to do good planning. After representatives from each sub-corps have been named, they should meet and elect their officers, chairman, vice-chairman and secretary. The school principal should name one of the teachers as teacher-guide for the School Corps.

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

The responsibility of the School Junior Red Cross Corps is to plan activities for the Junior Red Cross. They are a planning group and they provide opportunities for entire Junior Red Cross membership to participate in service projects. After the Corps makes plans each representative returns to respective sub-corps group and informs the membership about the plans. The sub-corps membership has the privilege of deciding how much of the plan or plans they wish to undertake.

The Corps and sub-corps may appoint as many committees as the circumstances may demand. For example, a health committee and a publicity committee may be essential to the success of the program. If so, they should be appointed.

It is important to remember that this is a youth organization and the boys and girls should have the privilege of being the officers and leaders. These boy and girl officers and leaders should alternate. This organization helps to develop leaders and teachers should make arrangements that as many boys and girls as possible during a year's time should have an opportunity to serve as leaders. Teachers and school authorities serve as guides. They should stay in the background except when circumstances demand positive action on their part.

WHAT SHALL BE THE NAME OF THE JUNIOR RED CROSS CORPS AND SUB-CORPS?

Any corps when organized and officially recognized shall have the same name of the school in which it was formed. For instance, the Junior Red Cross Corps consisting of the pupils in Akasaka Primary School shall be called Akasaka Primary Junior Red Cross Corps, the lower middle school shall be called the Akasaka Lower Middle School Junior Red Cross Corps, and the higher middle school shall be called the Akasaka Higher Middle School Junior Red Cross Corps.

The sub-corps shall be designated by a number such as First Sub-Corps of Akasaka Primary Junior Red Cross Corps.

HOW IS JUNIOR RED CROSS RELATED TO THE SCHOOL CURRICULUM?

The Junior Red Cross program calls for a variety of activities which, if properly used, should vitalize knowledge and skills and help develop character, health, and citizenship. Properly integrated, therefore, with the school curriculum, these activities should supplement the efforts of the government to achieve its educational objectives as set forth in the Constitution of Japan.

In order to realize these objectives to the fullest extent, it is important to keep in mind that the pupils will grow and develop in proportion to their participation in the projects that are suggested. For this reason those in position of leadership in Junior Red Cross work should keep the following questions always in mind:

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

1. In what home and community activities may Junior Red Cross members properly engage which will help develop in them better understanding and a more responsible attitude toward home and community needs?

2. How may the production of articles and the promotion of services for children's institutions, Red Cross hospitals, and similar institutions lead the pupils to greater interest in productive work and to a growing realization of the value of their contribution toward the welfare of others less fortunate than they?

3. How can participation in the International School Correspondence lead to a better understanding of other people and to an increase of friendliness from which a better international relationship may eventually develop?

4. How may one develop in the pupils a sense of responsibility in membership in the Junior Red Cross, and correspondingly in their homes and community?

5. How may the Junior Red Cross program add interest and meaning to school work and help promote greater and more enduring satisfaction, broader understanding, and deeper sympathies in the members?

The Junior Red Cross projects should be suitable to the pupils of every class and subject. Any one class should, however, engage in those activities which are most suitable to the skill, interest, welfare and understanding of the pupils, and which will contribute most to their social growth and development.

Each school should be well informed at the beginning of each school year as to all program possibilities - local, national and international. The school is then free to choose those activities which have the greatest possible educational usefulness to its pupils. The school may initiate activities which are both good Junior Red Cross and good education. The chapter Junior Red Cross program is the sum of all Junior Red Cross activities in all the schools.

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

RECEIVED 27 MAY 1948

15 April 1948

TO: All Chapter Directors

FROM: President

SUBJECT: Alteration of Junior Red Cross Group System.

The alteration of the Junior Red Cross Group system, of which you are already informed, shall be started from May, 1948, according to the following program. You are requested to make every possible effort for the permeation of the object of the new system among the existing groups so as to attain the purpose of the alteration.

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

PROGRAM OF THE ALTERATION OF THE JUNIOR RED CROSS GROUP SYSTEM

1. Time of transition to the New System.

   a. Period of Preparation.

   From April to June 1948. During this period, Group members shall discuss the advisability of new Group and carry on campaign to obtain enrollment fee.

   b. Period of Enrollment.

   May and June 1948. During these two months, necessary procedure for enrollment shall be taken and Enrollment Ceremony shall be performed.

   c. Period of Delay.

   Those Groups which cannot be altered to the new system during the above-mentioned period shall be permitted to exist as it is until the end of 1948 and thereafter shall be dissolved automatically. New Groups shall be enrolled even after June.

   When money for membership fee is received at National Headquarters two months prior to closing of present school year, the fee will be accredited to the respective school's membership for the following school year.

2. Enrollment Procedure in the New System.

   a. Receipt of Application.

   When a Chapter receives from a Group application forms for enrollment, it shall keep one and send the other to the National Headquarters with enrollment fee.

   b. Transmittal of Enrollment Fee.

   When Enrollment Fees are transmitted to the National Headquarters, a statement mentioning the name of Group and the number of its members shall be attached thereto.

   c. Dispatch of Badge and Enrollment Certificate.

   The National Headquarters, in exchange for enrollment fee, shall deliver Membership Badges and Enrollment Certificates to the Chapter which shall transmit them to each Group. In the year 1948, as the pre-estimate of the number of enrollment is impossible, the delivery shall be done in the above-mentioned method, but in the following years, the National Headquarters shall send beforehand a

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

certain number of Badges and Certificates to Chapters to the effect that they shall be delivered simultaneously with the receipt of applications.

3. Abolition of Old Regulations

The Regulations governing the Japanese Junior Red Cross, the Regulations of Group belonging to the J.J.R.C., Rules for Enrollment of the J.J.R.C. Group which were hitherto effective shall be abolished.

Hereafter, Groups shall not frame their own regulations, and shall be established and managed in accordance with the rules prescribed in the "Handbook." There shall not be any Association of Groups.

4. Notice of Alteration to the Groups.

To notify the existing groups under your jurisdiction of the alteration to the new system, you shall send to them Advice Note (Attachment 1), Essentials of the Alteration to the New System of the Japanese Junior Red Cross Groups (Attachment II) and Application Form for Enrollment (Attachment III), which shall be prepared in your Chapter, together with the "Junior Red Cross Handbook." Other papers deemed necessary shall be added. Each Group shall receive two Application Forms.

5. Policy of Permeation of the New System.

From the view-point of their nature, the new Groups should not be enrolled in great number from the beginning. Their establishment should be encouraged but not in a hurry; new Groups should be established on the own initiative of boys and girls with teacher guidance.

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

Attachment 1.

TO: All Chairmen of the Japanese Junior Red Cross Group.

FROM: Chapter Director.

SUBJECT: Alteration of the Japanese Junior Red Cross Group System.

In compliance with the line of educational reform of the country and through the assistance of the Education Section, GHQ, SCAP, the Japanese Red Cross Society has determined to alter the Junior Red Cross Group System according to the "Junior Red Cross Handbook" enclosed herewith, starting from coming June.

The new system shall require, on the part of leaders, much trouble but it is our sincere desire that you should make every possible effort with the thorough understanding of the object of the alteration.

As your preparations for the establishment of new Groups goes on, many questions shall be raised, and as we are willing to answer any of them, they should be advanced to us without restraint. It is hoped that the alteration should be carried out with your understanding of its object and, needless to say, on the own initiative of the members; therefore, one or more classes in a school may be organized as a new Group.

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

Attachment II.

Essentials of the Alteration to the New System
of the Japanese Junior Red Cross Group

1. Time of Transition to the New System.

(Contents are same with the previous "Program of the Alteration" addressed to Chapter Directors from the President.)

2. Enrollment Procedure in the New System.

a. Enrollment Procedure.

When the establishment of a Group is fixed in accordance with the principles in the "Handbook", two Application Forms shall be filled up and submitted to the Local Chapter toget her with the Enrollment fee.

b. Delivery of Badges and Signature-list.

At the receipt of Application Forms, the Chapter shall deliver to the Group Membership Badges, Signature-List (See "Handbook") and Enrollment Certificates. The Group, then, shall hold the Enrollment Ceremony.

3. Abolition of the "Regulations of Group belonging to the Japanese Junior Red Cross".

"The Regulations of Group" shall be abolished and, hereafter, such regulations shall not be established: the Group shall be organized and managed only in accordance with the principles in the "Handbook."

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

RECEIVED 4 JUN 1948

Instructions for Preparing International and Domestic School Correspondence Albums of the Japanese Junior Red Cross

May 20, 1948

I. Object of School Correspondence

School Correspondence constitutes one of the activities of the Junior Red Cross. Inter-country school correspondence aims at enabling Junior Red Cross members in schools to exchange information as to the organization and activities of their respective schools and groups, thereby enriching their knowledge in natural science and in the cultural field and, consequently, helping them make progress in their school work, through the reciprocal supply of unknown or strange facts and stories picked up at their respective places. As regards international school correspondence, it is intended to unite the juniors in this country with those in others with ties of goodwill and friendship on the basis of mutual understanding and to afford them opportunities of correctly recognizing their own country through the extension of their international knowledge in geographies, histories, manners and customs, racial traits and what not. It is thus eventually led to contribute to the cause of world peace.

II. How to Make School Correspondence

A. School correspondence means the exchange of albums made up with materials acquired at school between Junior Red Cross members in one school and those in another through the Junior group to which they belong. (School correspondence is divided into two kinds -- domestic school correspondence and international school correspondence.) It does not deal with any individual correspondence.

B. How School Correspondence is routed.

School correspondence is routed as follows:

Domestic correspondence:

Sending Group--> Chapter--> Headquarters--> Receiving Chapter--> Receiving Group.

International correspondence:

Sending Group--> Chapter--> Headquarters--> Receiving Country's Headquarters--> Chapter--> Receiving Group.

III. Importance of School Correspondence.

That school correspondence makes a great contribution toward the promotion of international friendly relations needs no explanation. In no rare cases, materials collected and prepared for the purpose of correspondence are found to give deep impression

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

on the juniors. This project furnishes valuable learning experiences for the boys and girls. They apply the skills which they have learned.

Speaking of its learning values, moreover, it is pointed out that while engaging in the preparation of these materials, the juniors learn the joy of cooperation and cultivate their power of observation, being unknowingly directed to pay consideration to the effect they may give on their recipients. In consequence, they are eventually led through this work to a correct recognition of the country to which they belong and in which they live.

It is for this reason that school correspondence is regarded as contributing a great deal to the promotion of international friendship and the cause of world peace.

IV. How to Make School Correspondence Albums

A. Planning for School Correspondence Albums.

1. Previous Notice.

In planning a school correspondence album, it is required that the prescribed application for correspondence be filed with the Chapter of the Japanese Red Cross Society concerned, thereby previously giving the applicants' preference as to which school they would like to correspond with. The designation of the school should be made as follows:

For domestic correspondence:

Name of School, Village or Town or City, Prefecture.

For international correspondence:

Name of School, City, State, Country.

On the part of the Red Cross Society, on receipt of the application, will do its best to give satisfaction to the applicants' desire, by properly selecting their correspondents from among the three schools nominated in the order of their preference.

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

2. Prescribed Form for Previous Notice of Correspondence.

Form for Previous Notice of Correspondence		
Date		
Sending School and Group	Address: Name Corps, Class, Grade	
Scheduled Date of Sending		Subject of Album:
School and Country with which Correspondence is preferred.	1. 2. 3.	
Signature and Address of Teacher.		
Signature and Address of JRC Leader		

N.B. For domestic correspondence the village or town or city and prefecture concerned must be mentioned; for international correspondence mention must be made of the city, state and country concerned.

B. Paper, Size and Weight.

Paper. In preparing a correspondence album, attention should be paid to the selection of paper used which is easy to obtain but so excellent in quality as proper for long preservation.

The reason for demanding such careful attention to the quality of paper is that if it is poor, even the album prepared with much painstaking efforts may easily be broken while inspection by the recipients before it has been preserved for long.

Size.

1. Maximum size is 33 cm. in length and 56 cm. in width.
2. Minimum size is 30 cm. in length and 23 cm. in width.

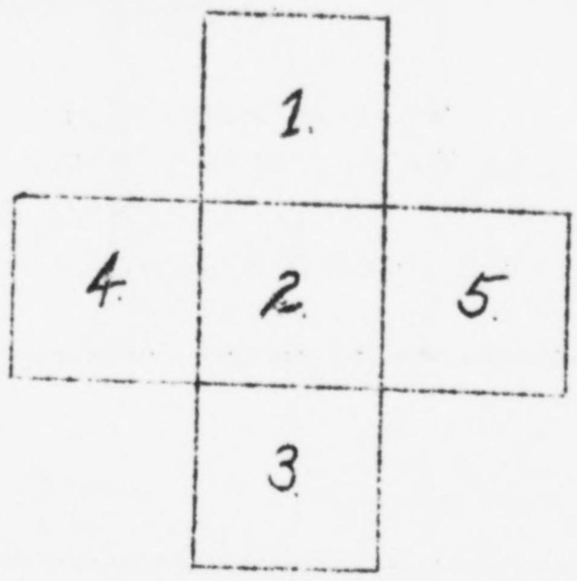
DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

Weight. Not exceeding 900 grams.

C. Covers.

1. Pay the same attention to the selection of paper for the covers as paid to the quality of paper for the leaves of the album.

2. Be sure to use the Red Cross symbol on the covers in design. The Red Cross symbol is a red cross made of the combination of five squares as shown below:



Use care so as not to weaken the prominence of the Red Cross by the colors or designs that may be put on the cover.

3. Make the cover designs so as to represent the contents. For example, for such contents as introducing the activities of the correspondents' school, the covers should be decorated with proper designs for suggesting the contents; in case they are for the introduction of the manners and customs of their country, designs to match the contents should be selected as decorations for the covers.

D. Instructions for the Contents.

1. Select a subject.
If the contents should be left to be so extensive as to cover various fields at one time, they would become too vague to be fully understood by the other parties. This is the reason why some special subject should be selected for preparing the contents. It is suggested, therefore, that one special subject be thoroughly investigated and systematically explained for the inclusion in an album.

2. Some Examples for Selection of Subjects.

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

a. Communications and Transportation.

(1) Regarding Postal Service.
(a) Transition of Postal Service.
(b) Postman's business.
(c) Postage-stamps.

(2) Regarding Ships and Vessels.
(a) Steamers.
(b) Ferry-boats.
(c) Pleasure boats.
(d) Excursion ships.

(3) Regarding Vehicles.
(a) Trains.
(b) Fire-engines.
(c) Motor-cars.

b. Community Life and Industries.

(1) Activities in Our School.
(2) Life in Cities.
(3) Life in Rural Villages.
(4) Life of Fishermen.
(5) Life in a snowy country.
(6) Life of Charcoal Burners.
(7) Life of coal miners.

c. Our Manners and Customs.

(1) On Kimono.
(2) On Footgear.
(3) Farmers' Customs (Mompe trousers, straw boots, etc.)

d. Our Festivals and Holiday Functions.

The above subjects are only suggestive. There are many other subjects which a school group may wish to choose. Investigations should not be made on an extensive scale but in a limited field.

It is advisable that a subject be selected, to some extent, in relation with the regular school work, in consideration of its contribution to the class activities and object lessons.

In case pleasure boats have been taken up as the subject for investigation at the moment, the Juniors concerned should strive to obtain the exhaustive knowledge about them, by actually visiting ports and piers for observing them, beside reading as many books concerned as available.

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

By acquiring the knowledge about (1) the constructions, (2) the types, (3) the speeds and (4) the names of the pleasure boats they have studied in this way, they should be directed to arrange the rich contents in a most artistic way in the album.

3. Some Suggestions as to the Contents.

a. Large-sized dolls, specimens, toys, etc. should be shipped not separately but together with the album. Beside such small objects as can be contained in the album, large objects that cannot be contained therein will also be accepted for shipment together with the album.

b. When penmanships and compositions are included in the album, the most excellent in the entire class, one or two copies for each, should be selected for introduction mainly for referential purposes.

c. When newspaper, graphic and magazine clippings are included in the album, it is suggested that they be properly arranged according to the subjects.

d. Don't give the names and grades of the correspondents on the covers. It would be interesting to give the names of the makers of the album and a collection of names and grades of the entire members of the class on the last page of the album.

4. Letters.

a. Be sure to include letters in the album. These letters should not be abstract in substance, but should be written as concretely as possible.

b. Include at least four or five letters in each album. They may be classified into:

(1) Introductory letters (which mean letters of a general introductory nature in entering into correspondence with another school, those of greetings in succeeding correspondences, etc.)

(2) Letters explaining the contents (Two or three should be the number for these letters.)

(3) Letters expressing the desires of the correspondents and those of questions (Desires and questions should be determined on consultation between teachers and students and should be distinctly mentioned in the letters.)

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

5. Expenses.

a. Expenses of materials for school correspondence albums should be met by funds raised by the correspondents themselves.

b. In regard to postages for school correspondence, the sending group pays them for the materials directly sent to their prefectural chapter of the Red Cross Society concerned, only in the case of sending. Other postages are borne by the chapter and Headquarters of the Japanese Red Cross Society. The receiving group does not pay any postages.

6. How to Handle School Correspondence Albums.

a. It is considered proper that not more than two albums be prepared by one class per year. (Because the preparation of many albums will render their quality inferior at the cost of their expected effects and at the same time, it will take away too much from the regular school hours.)

Of these two albums, one may be used for domestic correspondence and the other for international correspondence.

b. Period for Continuation of Correspondence Albums. Unless the exchange of correspondence albums is maintained for some period, it is impossible to expect any favorable effect of them. It is therefore desired that the exchange once started be continued at least for two or three years.

c. Albums and other materials sent from other groups belong to the school of the receiving group.

d. All exchanged materials should not be preserved idle but well arranged for inspection on proper occasions, while measures being taken for their utilization by many people.

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

RECEIVED 4 JUN 1948

THE CONSTITUTION OF THE JAPANESE JUNIOR RED CROSS CORPS OF

_____ SCHOOL.

Article I. NAME

This organization shall be known as the Japanese Junior Red Cross Corps of _____ School.

Article II. OBJECT

The purposes of this organization shall be:

1. To act in a general coordinating and advisory capacity for the pupils enrolled in the Junior Red Cross of _____ School and their respective sub-corps.

2. To insure teamwork throughout the school on various service projects.

3. To keep the school informed about Junior Red Cross.

4. To initiate and plan whole school activities, such as planning for Junior Red Cross services in the school, the community, the nation and the world.

5. To keep records and make reports on the Junior Red Cross activities of the school.

Article III. MEMBERSHIP

Sec. 1 Membership shall consist of two students from each sub-corps (class group), preferably a boy and a girl.

Sec. 2 These representatives should have a sense of responsibility and the qualifications necessary for good leadership.

Sec. 3 These representatives shall be elected or appointed as each sub-corps decides and shall serve for one year or until other representatives are appointed.

Article IV. OFFICERS

Sec. 1 The officers (members of the student body) shall be elected at the next to the last meeting of the school year. They shall assume their duties immediately and shall serve for one year or until other officers are elected. (See attached statement.)

Sec. 2 The student officers, with the Junior Red Cross teacher-sponsor, shall form the executive committee of the council.

Sec. 3 The student officers shall perform the usual duties pertaining to their office. (See attached statement.)

(Inclosure 1)

11

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

Article V. COMMITTEES

Sec. 1 The student president shall appoint the chairmen of such committees as may be deemed necessary to fulfill the purposes of the council.

Sec. 2 The student executive committee shall provide for all meetings, be responsible for the programs of the meetings, and carry out the wishes of the membership body in all matters referred to it.

Sec. 3 Any vacancies in offices may be filled by the student executive committee.

Article VI. MEETINGS

Sec. 1 The Junior Red Cross Corps shall meet regularly on _____.

Sec. 2 The executive committee shall meet on the call of the student president.

Sec. 3 A quorum shall consist of representation of two-thirds of the sub-corps enrolled in the Junior Red Cross.

Article VII. AMENDMENTS

This constitution may be amended by a two-thirds majority vote of the members present at any regular meeting, provided that the amendment has been submitted at the previous regular meeting and a copy of the proposed amendment has been sent to each school enrolled in the council.

(M ay, 1945)

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

SCHOOL CORPS STUDENT OFFICERS (May, 1948)

The President, Secretary and Treasurer are the officers required for each Corps. They are elected from the student Corps members. The principal or head teacher shall appoint a Teacher-Sponsor of the school to work closely with the Corps in planning and unifying the Junior Red Cross Activities.

THE TEACHER SPONSOR: The responsibility of the Sponsor is to encourage and supervise Corps activities and to be the liaison between the Junior Red Cross organization and the members of the units of the Senior Red Cross Society. The Sponsor is asked to leave as much of the conduct of the meeting as possible to the Juniors and to encourage them as much as possible to make their own decisions and arrangements about activities.

THE PRESIDENT: The President is the chief responsible student officer of the Corps. The President should have qualities of leadership and be chosen for these qualities. He or she should be an example to all members, be able and ready to initiate and be interested and active in all the affairs of the Corps.

A major responsibility of the student President is to make sure that all Corps matters are attended to and arrangements made for forthcoming meetings.

The student President should take the chair at all meetings. If he or she is absent a Chairman should be elected from the members present on the proposal of one of the members and seconded by another and approved by the meeting. The way in which a President should conduct a meeting is printed on pages 3-4.

The student President is responsible for the calling of an Annual Meeting and for the presentation of the Annual Report of the Corps at that meeting.

THE SECRETARY: The student Secretary of a Corps is responsible for all correspondence and for the clerical work with the exception of affairs of a financial nature, which are the responsibility of the Treasurer. The Secretary must also be the chief assistant of the President and be prepared to carry out routine details and arrangements on behalf of the President.

At the Corps meetings the student Secretary is responsible for recording the minutes; for presenting the minutes of the previous meeting; for bringing forward correspondence dealing with matters of which members should be advised; he or she must also be ready with any relevant information which may be asked for concerning matters on the agenda. Great care must be taken in reporting the exact wording of the motions and recording mover and seconder and whether or not motions are carried.

The student Secretary in conjunction with the Sponsor and the President is responsible for the drawing up of the Annual Report of the Corps and for sending it to Chapter Headquarters by a specified date.

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

THE TREASURER: The student Treasurer of the Corps is responsible for the record of the Corps funds and at each meeting is required to present a statement of accounts covering receipts and expenditure since the previous meeting.

The student Treasurer must make out the annual financial report for presentation at the Annual Meeting of the Corps and must hand over all books of account brought carefully to date and other property belonging to the Corps, to a succeeding Treasurer.

ROUTINE PRACTICE OF MEETINGS

A few days before the meeting, the President and Secretary should confer so that an agenda may be drawn up by the Secretary. This agenda or program for the meeting should be carefully followed.

The following is a sample agenda included for information only. Meetings need not follow exactly such a routine.

JAPANESE JUNIOR RED CROSS
HONCHO SCHOOL

Meeting to be held in the School Hall on Friday, 14 May, at 3:30 pm.

AGENDA

1. Minutes of Meeting of 12 April for confirmation.
2. Correspondence.
3. Report by Treasurer.
4. Report by Chairman of Program and other committees.
5. Program for June meeting.
6. Address by Secretary of the Fire Brigade.
7. Any other business.

Meetings should always be conducted with dignity and seriousness. The President of the Corps acting as Chairman, must really conduct the meeting and all members when speaking must stand and address the Chair as "Madam Chairman" or "Mr. Chairman." It is the Chairman's duty to indicate which of two or more speakers is to speak first and to call the meeting to order should members be talking amongst themselves or speaking to one another and not to the Chair.

When a visitor has been invited to the meeting, the President, as soon as the meeting is opened, should welcome and introduce the visitor to the members, saying a few gracious words about how fortunate the Corps is to have the visitor, and, if he or she is going to speak, state what the subject of the address is to be.

After the address has been given the President should call on a member to propose a vote of thanks and another to second it. It is usual for these members to be warned beforehand that they will be called upon to fulfil this duty.

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

PUTTING A MOTION: The following is the routine procedure for decisions, so that they are in order to be placed on the minutes of a meeting:

The President introduces the subject, giving a few words of explanation, and if one member is particularly informed or wishes to speak on the subject, the President asks him to speak and to move a motion covering the item. The matter is then proposed by that member who gives his reasons for wishing the meeting to approve. The motion must be stated in clear careful terms. A member would propose a motion in such words as this:

> "With your permission, Mr. Chairman, I would like to propose that this Corps should, as its next major activity, organize an International Pageant to be presented at the end of the year at a date to be decided later. The proceeds from the pageant to be used to provide a toy cupboard for the children's ward of the hospital. And that Shirley Anderson be appointed Chairman of a committee to organize the pageant."

The matter is not open for general discussion until another member seconds the motion.

Members may only speak once to each subject except the proposer, who is permitted to reply to any criticism or answer questions before the motion is put to the meeting for approval or rejection.

When all members who wish have spoken to a motion and the proposer has been given the opportunity to speak a second time, the President shall say:

> "The motion before you is.....Will all those in favor signify in the usual manner." (Hands will then be counted.) "To the contrary." (Again hands will be counted.)

The President shall then say either:

> "The motion has been carried" or "The motion has been defeated."

AMENDMENTS: An amendment may be proposed and seconded to an original motion before it has been put to the meeting. Amendments must not be a definite negative of the original motion but may modify it in one or more details. Amendments are put to the meeting before the original motion. If the amendment is carried it is then put again to the meeting as the original motion. If the amendment is lost, the motion in its original form is put to the meeting.

PRESENTING A REPORT: The Treasurer presents his report at each meeting, and when a committee or a member has undertaken some special duty a report is usually presented. The routine of presenting a report is simple and must always be followed. The member, after addressing the President, reads the report, moves its adoption and takes his seat. A member seconds the motion and the President, after allowing time for discussion, puts the motion to the meeting and declares it carried or lost.

DECLASSIFIED E. O. 12065 SECTION 3-402 / NNDG NO. 775013

It is always the Chairman of the meeting, and not the Chairman of the Committee, who puts the motion to the meeting.

THE PRESIDENT CONDUCTS THE MEETING: When the meeting is assembled and the President has taken the Chair, he or she rises and says:

"The Secretary will read the minutes of the last meeting."

When the Secretary has read them, the President says:

"Is it your pleasure that these minutes be confirmed?"

This question is put to ascertain the accuracy of the minutes. Any objection by any members must be proposed, seconded and voted upon by those present at the last meeting. If there is no objection to the minutes, the Chairman receives the answer "Yes," signs the minutes and dates them.

Any alterations and amendments should be made and initialled by the Chairman. Any business arising out of the minutes is then discussed.

The President then says: "I will now ask the Secretary to present the correspondence."

As each letter is read, the Secretary is given instructions from the President, after receiving the consent of the meeting of the action to be taken. The majority of letters are simply dealt with; many need on ly an acknowledgment. In such cases the President shall say: "Are you all agreed that acknowledgment and thanks be sent to Miss ....?" If the meeting is in agreement, consent is signified; if a member thinks other action should be taken, he or she says so; discussion follows, then the President puts a motion to the meeting. Some letters will give rise to full discussion before agreement is reached on the action to be taken.

The President then brings before the meeting the other items on the agenda in their order, unless there is some special reason why any one item should be taken out of order.

After the completion of the specific items, the President asks: "Is there any other business?" This is done to allow members to ask questions on any matters or to bring forward for consideration any ideas they may have concerning Corps or Junior Red Cross affairs. Before the meeting ends, the President arranges and tells the members, the date, place and time of the next meeting. When this is done, the President says: "I now declare the meeting closed and thank you all for your attendance."